

消防年報

令和3年版



【春】 フォリストパーク（軽米町）



【夏】 折爪岳のヒメボタル（九戸村）



【秋】 御所野縄文公園（一戸町）

* 令和3年度 世界文化遺産登録



【冬】 県立自然公園馬仙峡（二戸市）

令和4年刊行



二戸地区広域行政事務組合消防本部

は し が き

この消防年報は、令和3年中における二戸地区広域行政事務組合管内の消防業務及び消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するために編さんしたものであります。

また、消防事情を広く紹介し、消防行政に対する理解とご支援を賜りますとともに地域防災への指針として活用していただければ幸甚に存じます。

令和4年6月

二戸地区広域行政事務組合消防本部

目 次

◇ 概 要

1	二戸広域消防のあゆみ	1
2	二戸広域管内の概況	9
	(1) 構成市町村の人口等	10
	(2) 消防庁舎一覧表	10
3	組織	11
4	消防相互応援協定	
	(1) 消防相互応援協定に関する協定	12
	(2) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定	12
	(3) 八戸自動車道消防相互応援協定	12
	(4) 救急医療情報システム運用に関する確認	12
	(5) 岩手県防災ヘリコプター応援協定	12
5	歴代消防長	13
6	歴代消防署長	13
7	予防	
	(1) 防火対象物	14
	(2) 建築同意	15
	(3) 消防用設備等（特殊消防用設備等）	16
	(4) 防火対象物定期点検報告制度	17
	(5) 危険物施設	18
	(6) 自主防災組織	20
8	警防	
	(1) 消防車両の配置状況	21
	(2) 通信施設	21
	(3) 消防水利	22
9	火災	
	(1) 出火件数	23
	(2) 焼損面積及び損害額	24

(3) 死傷者	25
(4) 出火原因	25
10 救急	
(1) 出場件数及び搬送人員	26
(2) 事故種別ごとの活動状況	27
(3) 八戸自動車道の救急	29
11 救助	
(1) 出場件数及び救助人員	30
(2) 事故種別ごとの活動状況	31

◇ 資 料

令和3年度中の主要行事	33
<総務編>	
消防職員数	35
職員研修の状況	35
消防表彰の状況	35
消防職員の配置状況	36
階級・年齢別、在職年数別職員数	37
職員の資格取得状況	38
<予防編>	
防火対象物の状況	39
署分署別建築同意状況	40
中高層建築物の用途別の状況	41
消防用設備等（特殊消防用設備）の設置届出状況	42
防火対象物定期点検報告制度の状況	43
危険物施設の状況	44
自主防災組織の状況	45
<警防編>	
通信施設等の状況	46
消防車両等の現有状況	47
火災による損害状況	48
災害通報等受付件数	48

時間別・曜日別火災発生状況	49
焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況（過去 10 年間）	50
焼損面積 100 アール以上の林野火災状況（過去 10 年間）	51

<救急編>

年別救急出動状況（過去 10 年間）	52
月別・曜日救急出動状況	53
年代別・傷病程度別搬送人員状況	54
管轄する高速自動車道の概要	55
高速自動車道における事故等の発生状況	55
高速自動車道における救急活動状況（過去 10 年間）	56

<救助編>

年別救助活動状況（過去 10 年間）	57
署分署別救助活動状況	58
事故発生場所別救助活動状況	69
署分署別救助出場人員状況	60
署分署別救助活動人員状況	61

概 要



【浄法寺漆・二戸市】

二戸市は、国産漆の約70%を生産している日本一の漆の産地です。浄法寺漆は生産量の多さだけでなく、良質な漆として知られ、世界遺産に登録されている中尊寺金色堂、日光東照宮をはじめ国宝、重要文化財などに使用されています。（二戸市観光協会 HP から抜粋）

1 二戸広域消防のあゆみ

年 月	記 事
昭和 36年 4月	福岡町消防団常備部を設置する。
40年 4月	一戸町消防団常備部を設置する。
47年 4月	二戸市制施行に伴い、福岡町消防団常備部を二戸市消防団常備部とし、消防ポンプ自動車1台、救急車1台及び司令車1台の計3台を保有する。(部長以下10名)
	一戸町消防団常備部は、消防ポンプ自動車1台、救急車1台及び連絡車1台の計3台を保有する。(班長以下11名)
48年 3月	二戸市消防本部及び二戸市消防署庁舎新築工事が完了、消防ポンプ自動車2台を購入する。
4月	二戸市消防団常備部を廃止し、二戸市消防本部及び二戸市消防署を設置する。消防職員8名を増員し、消防本部2名、消防署17名、計19名で発足、さらに1名を増員し、消防職員20名となる。
5月	消防職員1名を採用する。(実員21名)
6月	事務職員を1名採用し二戸市消防本部に配属する。(実員22名)
49年 4月	岩手県農業共済組合連合会から救急車1台が寄贈され、二戸市消防署に配置する。広域行政の一環として消防に関する事務を共同処理するため、二戸市消防本部並びに二戸市消防署及び一戸町消防団常備部を廃止し、新たに二戸市、一戸町、軽米町、浄法寺町及び九戸村の5市町村を管轄する、二戸地区広域行政事務組合消防本部を設立する。併せて職員定数条例を改正して消防機関定数を70名とし、消防本部2名、二戸消防署22名、一戸分署15名、軽米分署7名、浄法寺分署8名及び九戸分署5名、計59名で発足する。
	二戸消防署に消防ポンプ自動車2台、救急車1台、司令車1台並びに一戸分署に消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台を配備する。
	初代消防長に中村善兵衛氏(二戸市助役兼務)が就任する。
8月	消防職員4名を採用する。(実員63名)
10月	消防ポンプ自動車3台を購入し、軽米分署、浄法寺分署及び九戸分署に各1台を配備する。
12月	司令車、連絡車各1台を購入し、それぞれ消防本部、九戸分署に配備する。浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
50年 1月	日本損害保険協会より救急車1台が寄贈され、軽米分署に配備する。九戸分署庁舎新築工事が完了する。
3月	消防職員1名を採用する。(実員64名)
	軽米分署車庫新築工事が完了する。
4月	第2代消防長に久保田喜一郎氏(二戸市派遣)が就任する。職員定数条例を改正して消防機関定数79名とし、消防職員11名を採用する。(実員75名)

年 月	記 事
昭和 50年 9月	岩手県農業共済組合連合会より救急車2台が寄贈され、浄法寺分署、九戸分署に各1台を配備する。
11月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
51年 3月	連絡車1台を購入し浄法寺分署に配備する。
11月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
52年 5月	連絡車1台を購入し二戸消防署に配備する。
8月	岩手県農業共済組合連合会より救急車1台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
53年 7月	連絡車1台を購入し軽米分署に配備する。
54年 4月	二戸消防署簡易救助訓練施設が完成する。
11月	消防職員5名を採用する。(実員79名)
12月	一戸分署庁舎新築工事が完了する。
55年 11月	職員定数条例を改正して消防機関定数を81名とする。
56年 4月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署に配備する。
5月	職員定数条例を改正して消防機関定数を85名とし、消防職員6名を採用する。(実員83名)
9月	連絡車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
57年 4月	日本消防協会より救急車1台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
9月	消防職員1名を採用する。(実員83名)
58年 4月	消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
59年 4月	職員定数条例を改正して消防機関定数を88名とし、消防職員4名を採用する。(実員86名)
60年 4月	消防職員1名を採用する。(実員87名)
61年 4月	第3代消防長に佐々木新一氏(二戸市派遣)が就任する。
12月	消防職員1名を採用する。(実員88名)
62年 3月	二戸地区空中消火等補給基地が完成する。
4月	日本消防協会から救急車1台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
8月	職員定数条例を改正して消防機関定数を90名とし、消防職員2名を採用する。(実員89名)
10月	司令車1台を購入し消防本部に配備する。
12月	救急車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
63年 4月	消防用短波無線電話装置基地局を設置する。
10月	職員定数条例を改正して消防機関定数を91名とし、消防職員4名を採用する。(実員91名)
平成 元年 4月	救急車1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
	職員定数条例を改正して消防機関定数を92名とし、消防職員5名を採用する。(実員92名)

年 月	記 事
平成 元年 8 月	日本消防協会より救急車 1 台が寄贈され、九戸分署に更新配備する。
10 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
2 年 2 月	4 週 6 休制を実施する。
4 月	岩手県消防学校に主任消防教官として 1 名を派遣する。(平成 4 年 3 月まで)
7 月	連絡車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
9 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
10 月	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車 1 台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
12 月	4 週 8 休制(土曜閉庁)を実施する。
3 年 1 月	山之内製薬株式会社より救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
3 月	二戸消防署車庫増築工事が完了する。
6 月	連絡車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
10 月	浄法寺分署車庫増築工事が完了する。
11 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
4 年 4 月	第 4 代消防長に小川吉亮氏(二戸市派遣)が就任する。 消防職員 3 名を採用する。(実員 92 名)
8 月	連絡車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
9 月	司令車 1 台を購入し消防本部に更新配備する。 二戸消防署救助訓練施設の拡張整備が完了する。
11 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し浄法寺分署に配備する。 二戸市から公用車の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
12 月	一戸分署倉庫新築工事が完了する。
5 年 3 月	安田生命保険相互会社から救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 97 名とし、消防職員 5 名を採用する。 (実員 97 名)
7 月	日本防火協会から防火広報車 1 台が寄贈され、消防本部に配備する。
9 月	完全週休二日制を実施する。 連絡車 1 台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
11 月	消防職員 1 名を採用する。(実員 97 名)
6 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 104 名とし、消防職員 4 名を採用する。 (実員 100 名)
7 年 4 月	消防職員 3 名を採用する。(実員 102 名)
11 月	救急業務の高度化推進に伴い、1 名が救急救命士免許を取得する。
8 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
3 月	屈折はしご付消防自動車 1 台を購入し消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。(実員 104 名)

年 月	記 事
平成 8 年 8 月	岩手県防災航空隊発足に伴い、職員 1 名を同隊に派遣する。（平成 11 年 3 月まで）
1 1 月	消防本部の組織改編を実施し、2 課 4 係体制とする。
1 2 月	救急車 2 台を購入し、軽米分署、九戸分署に各 1 台を更新配備する。
9 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 115 名とし、消防職員 3 名を採用する。 （実員 107 名）
5 月	救急救命士免許取得者 2 名となる。
1 2 月	救急救命士免許取得者 3 名となる。
1 0 年 1 月	第 5 代消防長に佐々木正勝氏（二戸市派遣）が就任する。
2 月	高規格救急車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4 月	消防職員 3 名を採用する。（実員 108 名） 携帯電話からの 119 番通報受信装置の運用を開始する。
6 月	二戸地区空中消火等補給基地の一部に舗装を施工し、ポンプ操法訓練場として運用を開始する。
8 月	二戸市の緊急通報システム運用に伴う受信装置の運用を開始する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 4 名となる。
1 1 年 2 月	救助工作車（Ⅱ型）1 台を購入し消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。（実員 110 名）
5 月	救急救命士免許取得者 5 名となる。
1 1 月	救急救命士免許取得者 6 名となる。
1 2 年 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 112 名） 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。（平成 15 年 3 月まで）
5 月	救急救命士免許取得者 7 名となる。 指揮車、連絡車各 1 台を購入し、それぞれ二戸消防署、九戸分署に更新配備する。 また、資機材搬送車 1 台を購入し消防本部に配備する。
1 3 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
7 月	二戸市から中型バス 1 台の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
9 月	高規格救急車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 9 名となる。
1 4 年 4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 113 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 11 名となる。
1 2 月	高規格救急車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
1 5 年 4 月	第 6 代消防長に久保田孝男氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 2 名を採用する。（実員 112 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 12 名となる。

年 月	記 事
平成 15 年 12 月	高規格救急車 1 台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
16 年 4 月	消防職員 3 名を採用する。(実員 111 名) 救急救命士免許取得者 13 名となる。
8 月	連絡車 1 台を購入し消防本部に更新配備する。
11 月	救急救命士免許取得者 14 名となる。
12 月	消防大学校専科教育救助科(第 51 期)を 1 名修了する。 高規格救急車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
17 年 4 月	救急救命士免許取得者 15 名となる。
5 月	救急救命士処置拡大により、気管挿管講習(未修了者対象)を開始する。
11 月	救急救命士免許取得者 16 名となる。
12 月	消防大学校専科教育予防科(第 78 期)を 1 名修了する。
18 年 4 月	消防職員 1 名を採用する。(実員 110 名) 救急救命士免許取得者 17 名となる。 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。(平成 21 年 3 月まで)
8 月	消防大学校専科教育火災調査科(第 11 期)を 1 名修了する。
12 月	救急救命士処置拡大により、薬剤投与講習(未修了者対象)を開始する。
19 年 3 月	司令車 1 台を購入し消防本部に更新配備する。
4 月	救急救命士免許取得者 18 名となる。
8 月	消防大学校専科教育警防科(第 81 期)を 1 名修了する。
10 月	連絡車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
11 月	高規格救急車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
20 年 4 月	第 7 代消防長に木村貢氏が就任する。 消防職員 2 名を採用する。(実員 107 名) 救急救命士免許取得者 19 名となる。
8 月	連絡車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
21 年 4 月	第 8 代消防長に田村利明氏が就任する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2 課 5 係及び 1 署 4 係体制とする。 消防職員 4 名を採用する。(実員 108 名) 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。(平成 24 年 3 月まで)
8 月	連絡車 1 台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
21 年 11 月	平成 21 年度岩手県総合防災訓練が二戸市で開催される。
22 年 4 月	消防職員 4 名を採用する。(実員 109 名)
5 月	救急救命士免許取得者 20 名となる。
12 月	消防大学校総合教育幹部科(第 23 期)を 1 名修了する。
23 年 4 月	第 9 代消防長に山田武實氏が就任する。 消防職員 6 名を採用する。(実員 109 名)

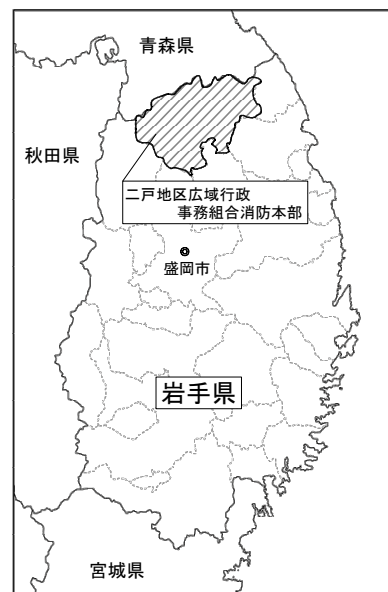
年 月	記 事
平成 23年 4月	救急救命士免許取得者 21名となる。
24年 4月	第10代消防長に目時栄氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 6名を採用する。（実員 112名） 岩手県消防学校に主任消防教官として 1名を派遣する。（平成 26年 3月まで） 救急救命士免許取得者 22名となる。
12月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 広報車 1台を購入し消防本部に配備する。
25年 3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型） 1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4月	消防職員 7名を採用する。（実員 112名） 救急救命士免許取得者 23名となる。 浄法寺分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
9月	救急救命士処置拡大に伴う薬剤投与講習を全救急救命士が修了する。
11月	軽米分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 浄法寺分署庁舎新築工事が始まる。 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型） 1台を購入し軽米分署に更新配備する。 高規格救急車 1台を購入し一戸分署に更新配備する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第 26期）を 1名修了する。 救助工作車（Ⅱ型）を購入し、消防本部に更新配備する。
26年 4月	消防職員 7名を採用する。（実員 114名） 救急救命士免許取得者 24名となる。 岩手県防災航空隊に職員 1名を派遣する。（平成 29年 3月まで）
5月	浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
6月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事及び軽米分署庁舎新築工事が始まる。 指導救命士養成研修（九州研修所）を 1名修了する。 救急救命士処置拡大 2項目講習（未修了者対象）を開始する。
8月	指導救命士養成研修（九州研修所）を 1名修了する。
9月	救急救命士処置拡大により、ビデオ喉頭鏡による気管挿管講習（未修了者対象）を開始する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第 28期）を 1名修了する。 消防大学校実務講習違反是正特別講習（第 2回）を 1名修了する。
27年 1月	高規格救急車 1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
2月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
3月	消防大学校専科教育予防科（第 97期）を 1名修了する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2課 6係及び 1署 4係体制とする。
4月	消防職員 1名を採用する。（実員 114名） 救急救命士免許取得者 26名となる。

年 月	記 事
平成 27年 6月	消防大学校専科教育救助科（第71期）を1名修了する。
10月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事が完了する。
	消防大学校専科教育救急科（第77期）を1名修了する。
11月	消防本部併設二戸消防署新庁舎で業務を開始する。併せて高機能指令センター並びに消防救急デジタル無線の運用を開始する。
28年 1月	株式会社オノデラサインより事務連絡車1台が寄贈され、消防本部に配備する。
2月	高規格救急車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し九戸分署に更新配備する。
4月	消防職員8名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者28名となる。
10月	高規格救急車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
12月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
29年 4月	消防職員2名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者29名となる。
9月	救急救命士処置拡大2項目講習を全救急救命士が修了する。
10月	高規格救急車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
11月	広報車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
30年 3月	消防ポンプ付大型水槽車1台を購入し消防本部に配備する。
4月	第11代消防長に田中長治氏が就任する。 消防職員2名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者32名となる。 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。（令和3年3月まで）
5月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第14回）を1名修了する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第36期）を1名修了する。
31年 2月	消防ポンプ自動車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4月	消防職員1名を採用する。（実員115名） 救急救命士免許取得者34名となる。
令和 元年 5月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第15回）を1名修了する。
6月	連絡車1台を購入し消防本部に更新配備する。
7月	救急救命士処置拡大に伴うビデオ喉頭鏡による気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
8月	指導救命士養成研修（九州研修所）を1名修了する。
9月	広報車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
12月	水槽付ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し一戸分署に更新配備する。
2年 4月	第12代消防長に長興寺一弘氏が就任する。 消防職員4名を採用する。（実員115名）

年 月	記 事
令和 2 年 4 月	<p>救急救命士免許取得者 36 名となる。</p> <p>第98回全国消防長会技術委員会が当組合消防本部主催で開催される。 (新型コロナウイルス感染症が蔓延したことから、感染拡大防止の観点により書 面会議方式として開催し、当年5月25日審議結果を報告する。)</p>
6 月	救急救命士処置拡大に伴う気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
8 月	九戸分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
3 年 1 月	総務省消防庁より高機能救命ボートが貸与され、緊急消防援助隊使用物品として消防本部に配備する。
4 月	<p>第 13 代消防長に十文字英之が就任する。</p> <p>消防職員 4 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 1 名)</p> <p>救急救命士免許取得者 35 名となる。</p> <p>岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。(令和 6 年 3 月まで)</p>
5 月	九戸分署庁舎新築工事が始まる。
7 月	消防大学校専科教育危険物科(第 16 期)を 1 名修了する。
12 月	消防大学校専科教育警防科(第 109 期)を 1 名修了する。
4 年 3 月	九戸分署庁舎新築工事が完了する。
4 月	<p>消防職員 1 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 1 名)</p> <p>救急救命士免許取得者 36 名となる。</p> <p>県内 10 消防本部による「いわて消防通信指令事務協議会」の設立により、同協 議会推進室に職員 1 名を派遣する。(令和 7 年 3 月まで)</p>

2 二戸広域管内の概況

当広域圏は、北に青森県と接している岩手県の最北部に位置しており、平成18年1月の市町村合併を経て、現在は二戸市、軽米町、一戸町及び九戸村の1市2町1村で構成され、1本部1署4分署を配置しています。



(1) 構成市町村の人口等

令和4年4月1日現在

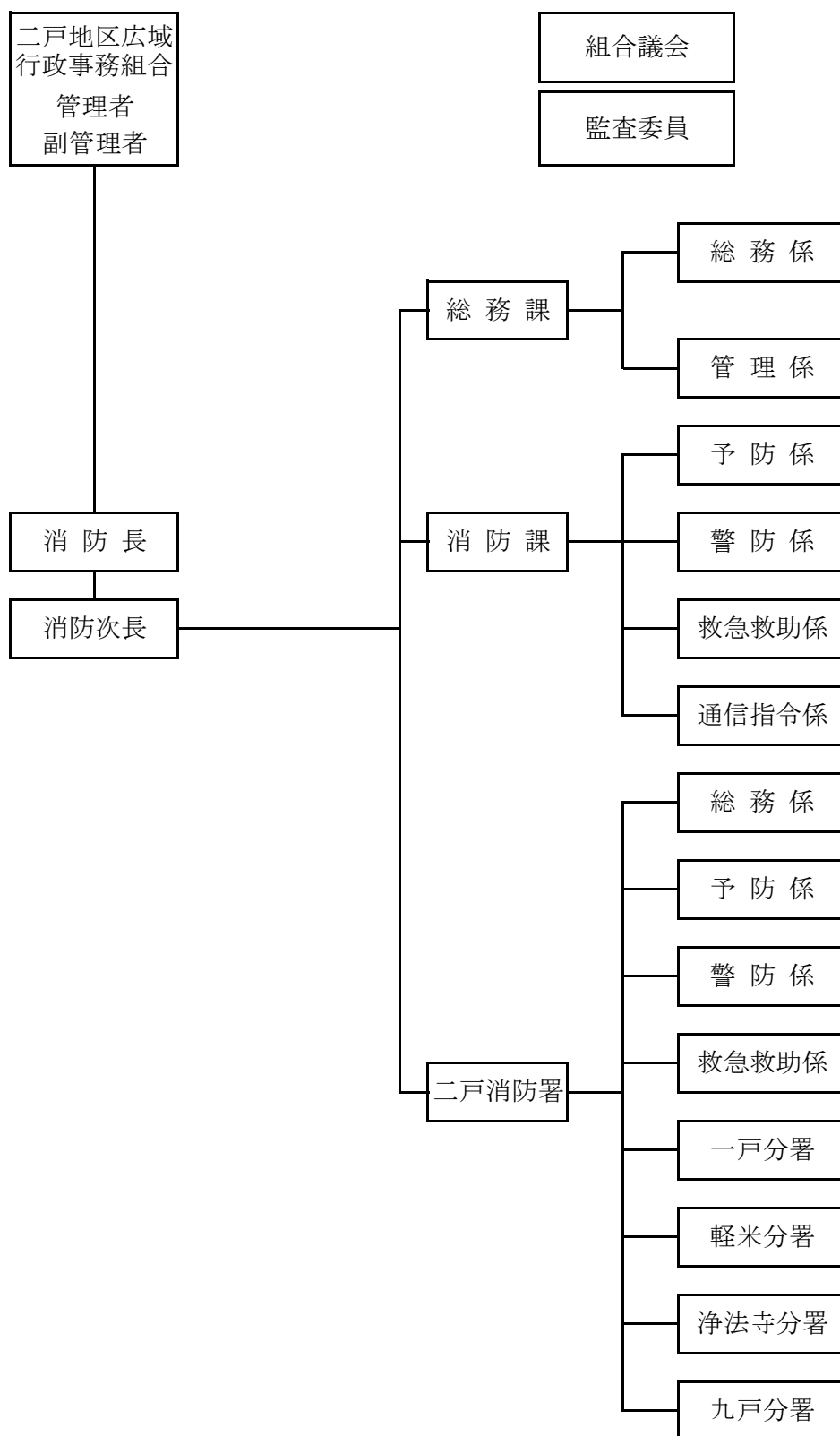
区分 市町村名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口密度 (人口/面積)
二戸市	25,581	11,725	420.42	60.85
一戸町	11,401	5,520	300.03	38.00
軽米町	8,474	3,718	245.82	34.47
九戸村	5,439	2,169	134.02	40.58
計	50,895	23,132	1,100.29	46.26

(2) 消防庁舎一覧表

区分	所在地	構造・階数	敷地面積	建築面積	竣工年月
				延面積	
消防本部 二戸消防署	〒028-5711 二戸市金田一字上田面300番地2 TEL 0195-26-8111	R C 造 2 階 建	9,211.470m ²	1,508.48m ²	H27. 7新築
				2,402.48m ²	
一戸分署	〒028-5301 一戸町西法寺字関屋157番地1 TEL 0195-33-3119	R C 造 2 階 建	1,730.085m ²	359.47m ²	S54.11新築
				662.66m ²	
軽米分署	〒028-6302 軽米町大字軽米第3地割74番地1 TEL 0195-46-4119	R C 造 1 階 建	1,773.700m ²	542.09m ²	H27. 3新築
				502.12m ²	
浄法寺分署	〒028-6854 二戸市浄法寺町下前田28番地2 TEL 0195-38-4119	鉄 骨 造 2 階 建	522.668m ²	331.65m ²	H26. 5新築
				494.98m ²	
九戸分署	〒028-6502 九戸村大字伊保内第12地割65番地1 TEL 0195-42-3119	R C 造 2 階 建	3, 425.035m ²	618.37m ²	R4.3新築
				688.44m ²	

3 組 織

二戸地区広域行政事務組合消防本部・消防署の組織



4 消防相互応援協定

(1) 消防相互応援協定に関する協定

応援協定締結団体名	締結年月日
盛岡地区広域消防組合	締結改正
奥州金ヶ崎行政事務組合	締 結 平成13年5月1日
一関市消防本部	全部改正 平成19年4月1日
大船渡地区消防組合	
遠野市消防本部	
宮古地区広域行政組合	
花巻市消防本部	
釜石大槌地区行政事務組合	
久慈広域連合	
陸前高田市消防本部	
北上地区消防組合	
(県外)	
八戸地域広域市町村圏事務組合	締 結 平成11年4月1日

(2) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
盛岡地区広域消防組合	締 結 昭和52年11月19日
奥州金ヶ崎行政事務組合	変 更 昭和54年10月13日
一関市消防本部	変 更 平成元年9月7日
花巻市消防本部	
北上地区消防組合	

(3) 八戸自動車道消防相互応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締 結 昭和61年11月27日

(4) 救急医療情報システム運用に関する確認

確認団体名	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締 結 平成元年12月8日
久慈広域連合	

(5) 岩手県防災ヘリコプター応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
岩手県	締 結 平成8年10月1日
岩手県内各市町村	
岩手県内各消防本部	

5 歴代消防長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	中村 善兵衛	S49. 4. 1	S50. 3. 31	二戸市助役兼務
2代	久保田 喜一郎	S50. 4. 1	S61. 3. 31	二戸市派遣
3代	佐々木 新一	S61. 4. 1	H 4. 3. 31	〃
4代	小川 吉亮	H 4. 4. 1	H 9. 12. 31	〃
5代	佐々木 正勝	H10. 4. 1	H15. 3. 31	〃
6代	久保田 孝男	H15. 4. 1	H20. 3. 31	〃
7代	木村 貢	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
8代	田村 利明	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
9代	山田 武實	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	目時 栄	H24. 4. 1	H30. 3. 31	二戸市派遣
11代	田中 長治	H30. 4. 1	R 2. 3. 31	
12代	長興寺 一弘	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
13代	十文字 英之	R 3. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合消防本部発足

6 歴代消防署長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	久保田 喜一郎	S49. 4. 1	S61. 3. 31	消防長兼務
2代	佐々木 新一	S61. 4. 1	S62. 3. 31	消防長兼務
3代	小川 吉亮	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	消防次長兼務
4代	吉田 平悦	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
5代	小川 吉亮	H 8. 4. 1	H 8. 10. 31	消防長、消防次長兼務
6代	東山 佐久三	H 8. 11. 1	H10. 3. 31	
7代	江六前 実	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
8代	荒澤 作郎	H14. 4. 1	H18. 3. 31	
9代	橋本 信孝	H18. 4. 1	H19. 3. 31	
10代	田村 利明	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
11代	泉山 義夫	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	山田 武實	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
13代	中村 英明	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
14代	角田 勇吉	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
15代	佐々木 良雄	H26. 4. 1	H28. 3. 31	
16代	横浜 貞則	H28. 4. 1	H29. 3. 31	
17代	林 健一	H29. 4. 1	R 2. 3. 31	
18代	日山 智嘉雄	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
19代	横濱 勇悦	R 3. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合 二戸消防署発足

7 予 防

(1) 防火対象物

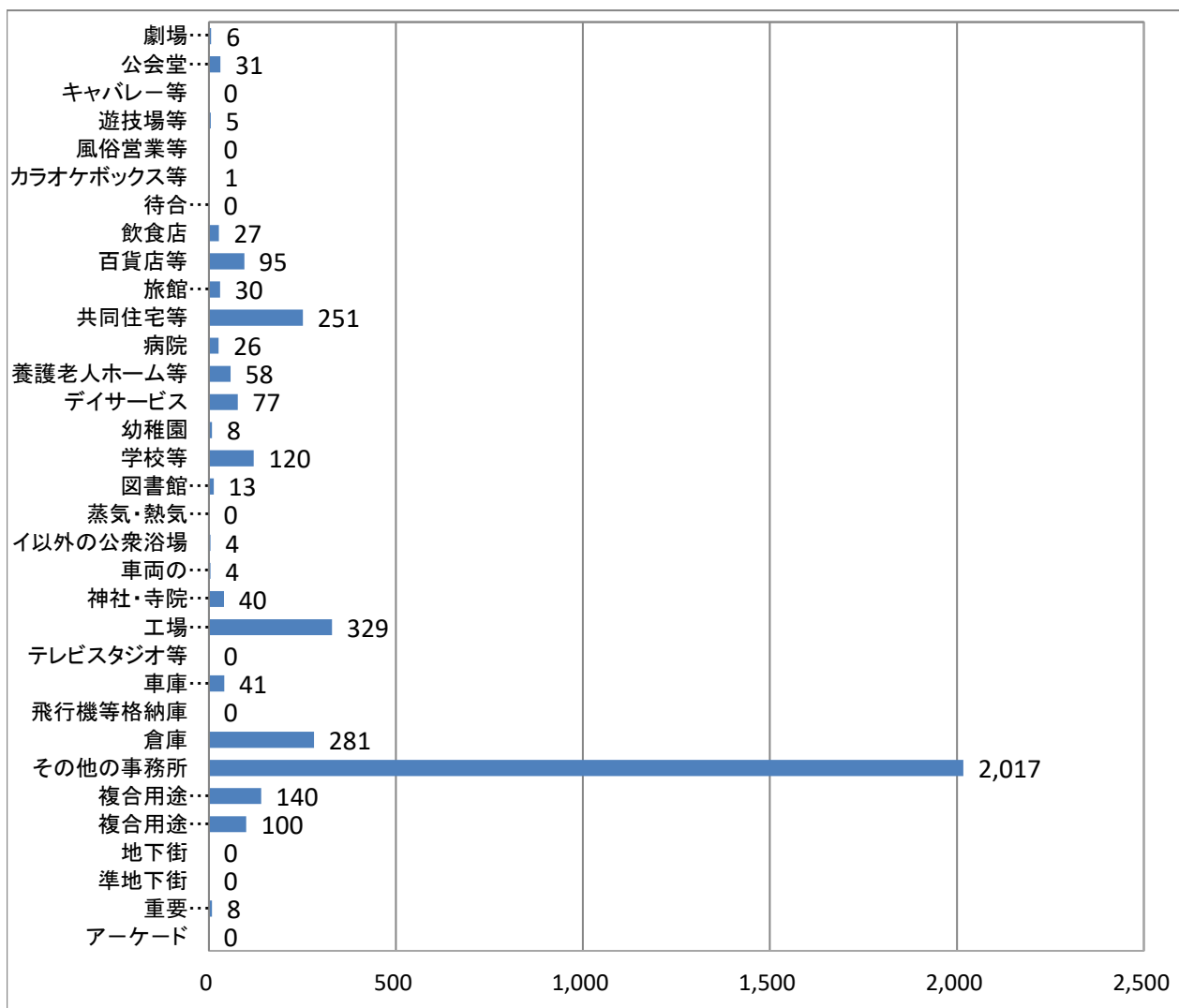
学校、病院、工場、事業場、百貨店、旅館、ホテル等の防火対象物は、3,712件であり、前年度に比べ14件の増加となっています。

市町村別の防火対象物数は、次のとおりです。

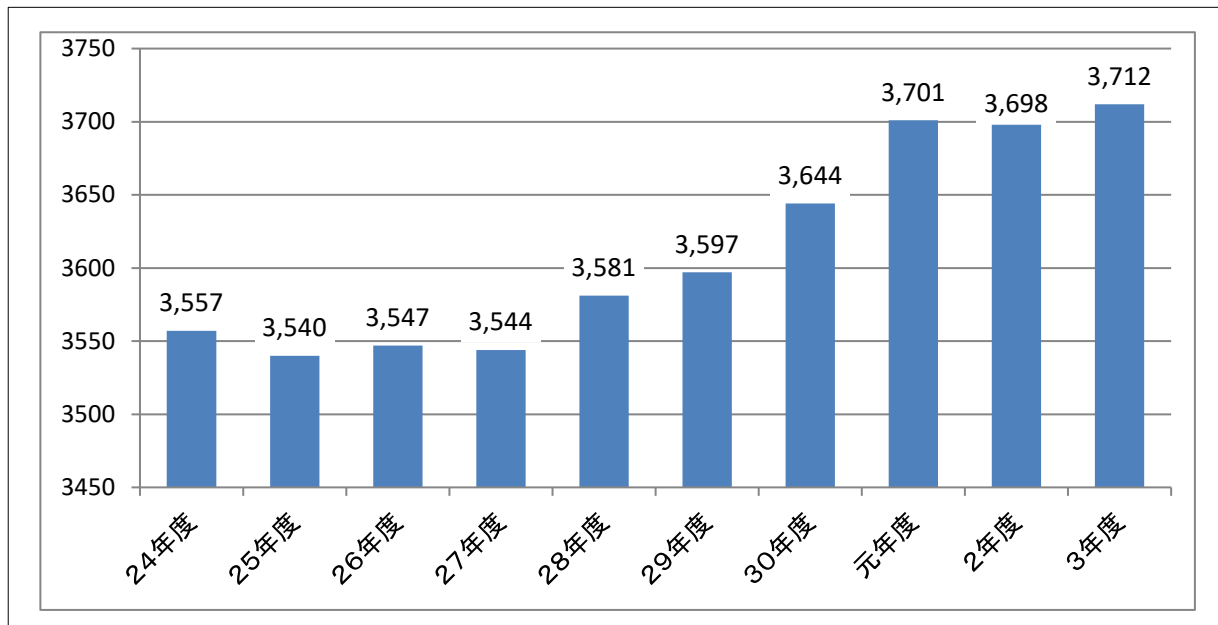
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
3年度	1,424	830	713	745	3,712
2年度	1,424	824	711	739	3,698
増減	0	6	2	6	14

防火対象物の内訳は次のとおりです。



過去10年間の対象物数の推移は次のとおりです。

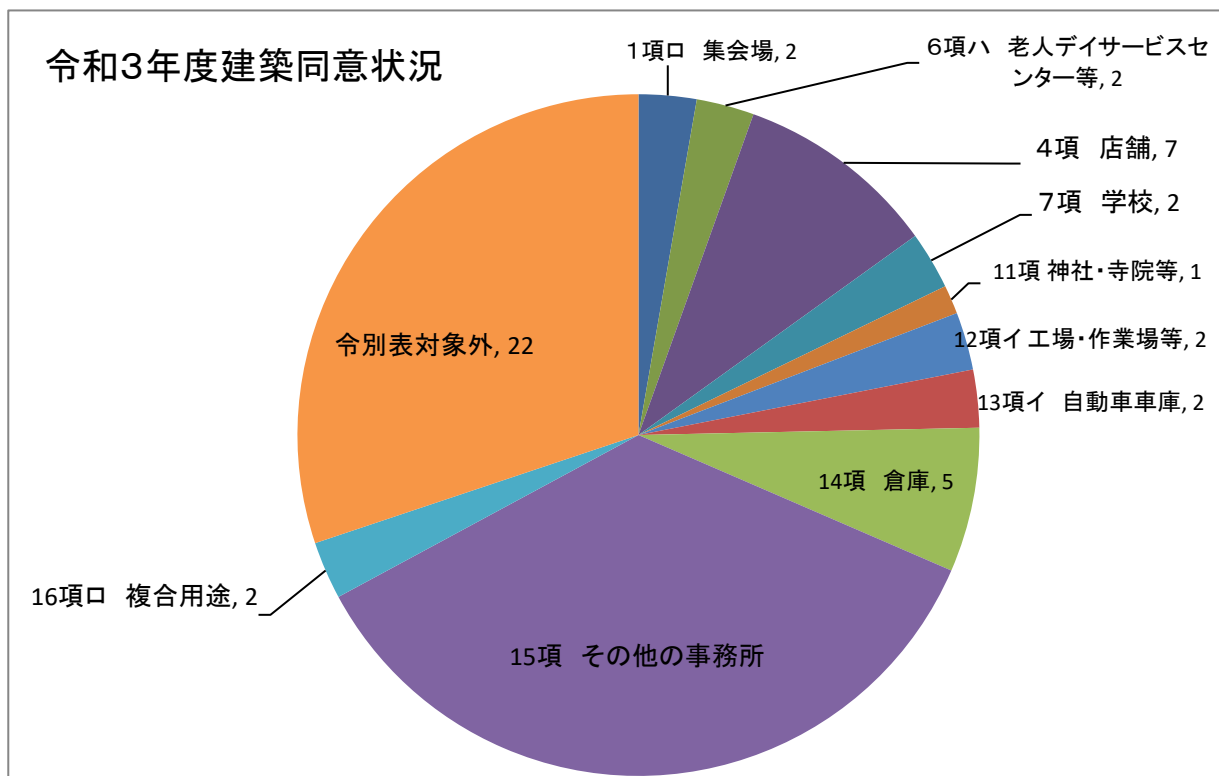


(2) 建築同意

新築、増築、改築等の建築同意件数は51件で前年度より4件の減少となっています。

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
3年度	24	5	7	15	51
2年度	26	13	13	3	55
増減	△2	△8	△6	△8	△4

建築同意事務の状況は次のとおりです。



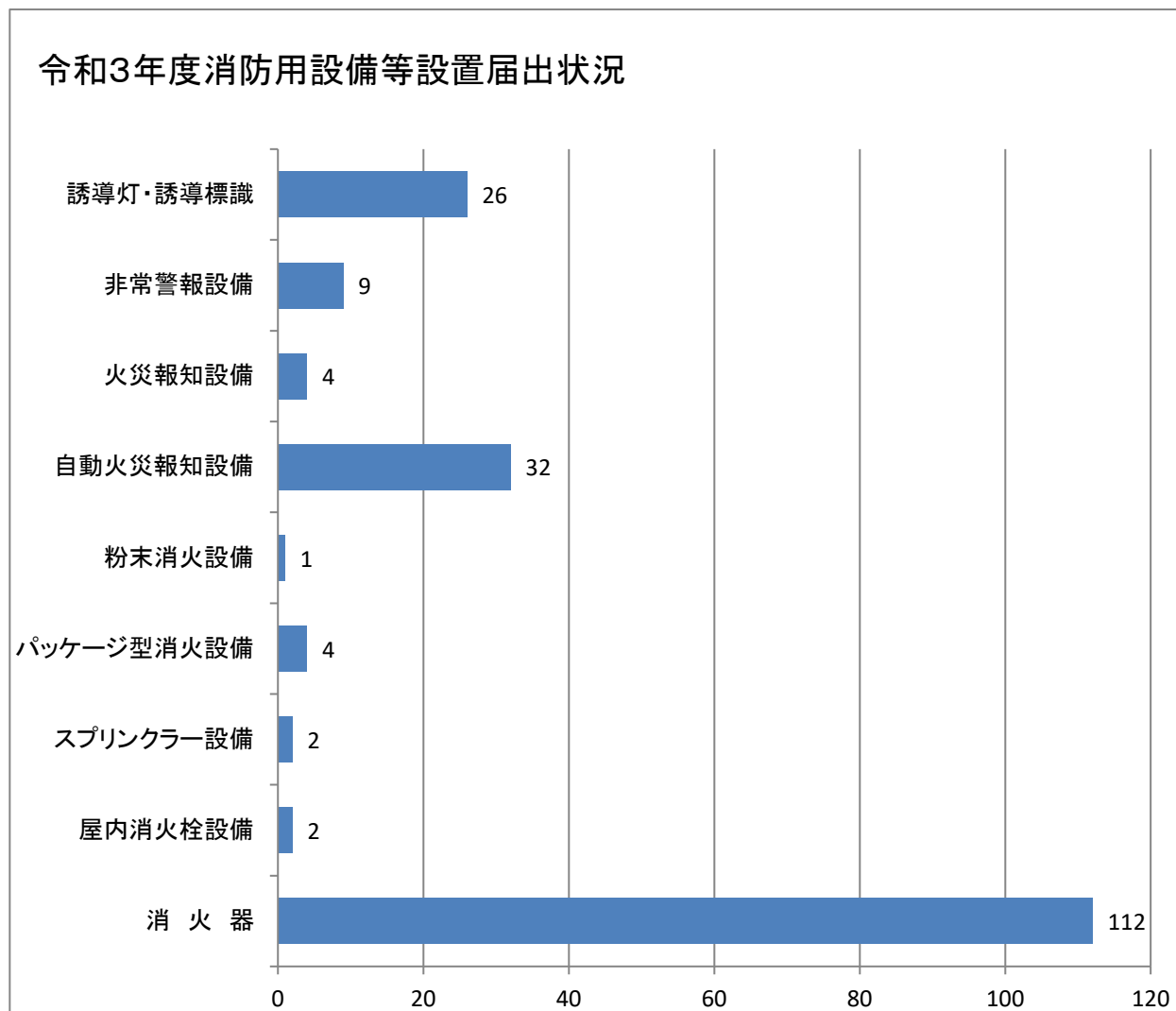
(3) 消防用設備等(特殊消防設備等)

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、避難器具等の消防用設備等の着工届出数は30件であり、前年度に比べ2件増加しています。

また、設置届出は198件であり、前年度に比べ5件減少しています。

区 分	消防の用に供する設備						消防用水		消火活動上必要な設備		合 計	
	消火設備		警報設備		避難設備							
	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置
3年度	9	122	20	46	1	29	0	0	0	1	30	198
2年度	4	118	23	45	1	38	0	0	0	0	28	201
増 減	5	4	△ 3	1	0	△ 9	0	0	0	1	2	△ 3

消防用設備等の設置届出の内訳は、次のとおりです。



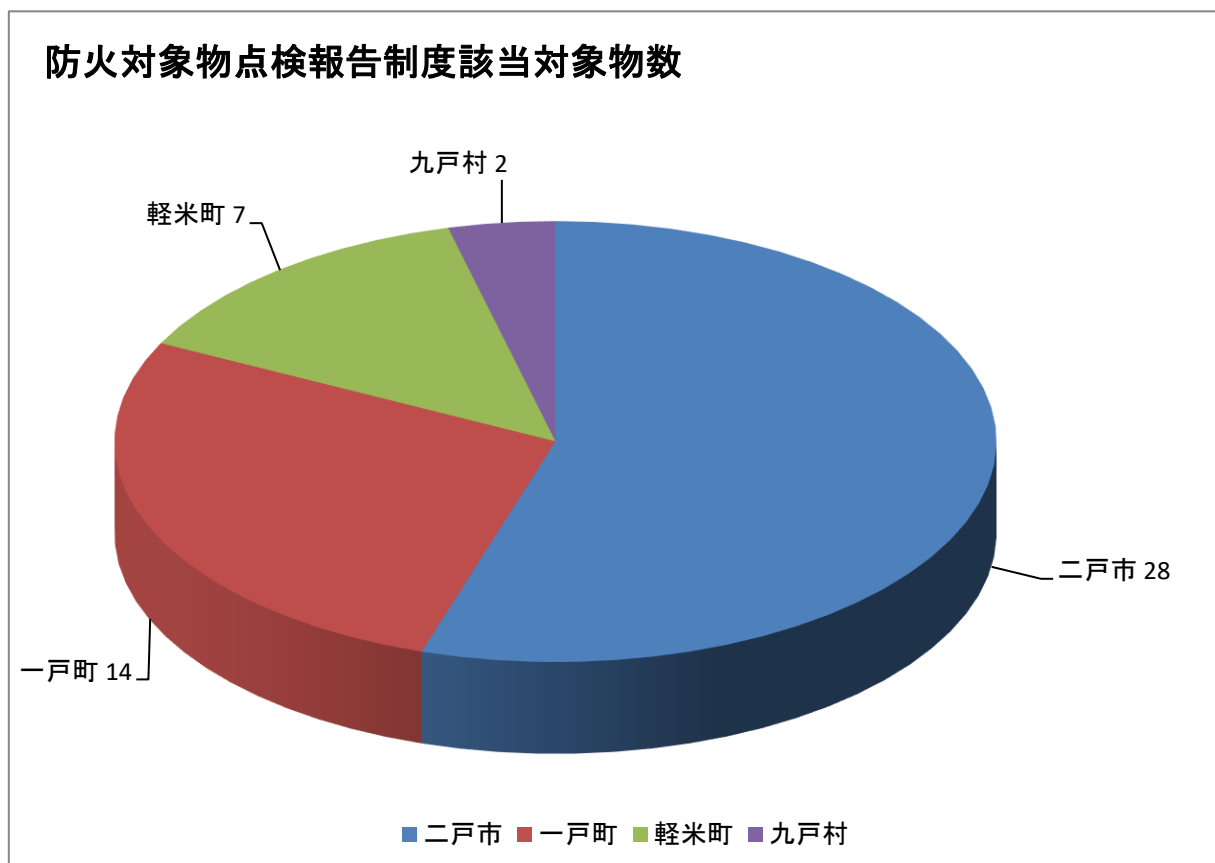
(4) 防火対象物定期点検報告制度

防火対象物定期点検報告制度に該当する防火対象物数は、51件であり、前年度に比べ1件増加しています。

各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村
3年度	28	14	7	2
2年度	27	14	7	2
増減	1	0	0	0

防火対象物定期点検報告制度に該当する防火対象物数の内訳は、次のとおりです。



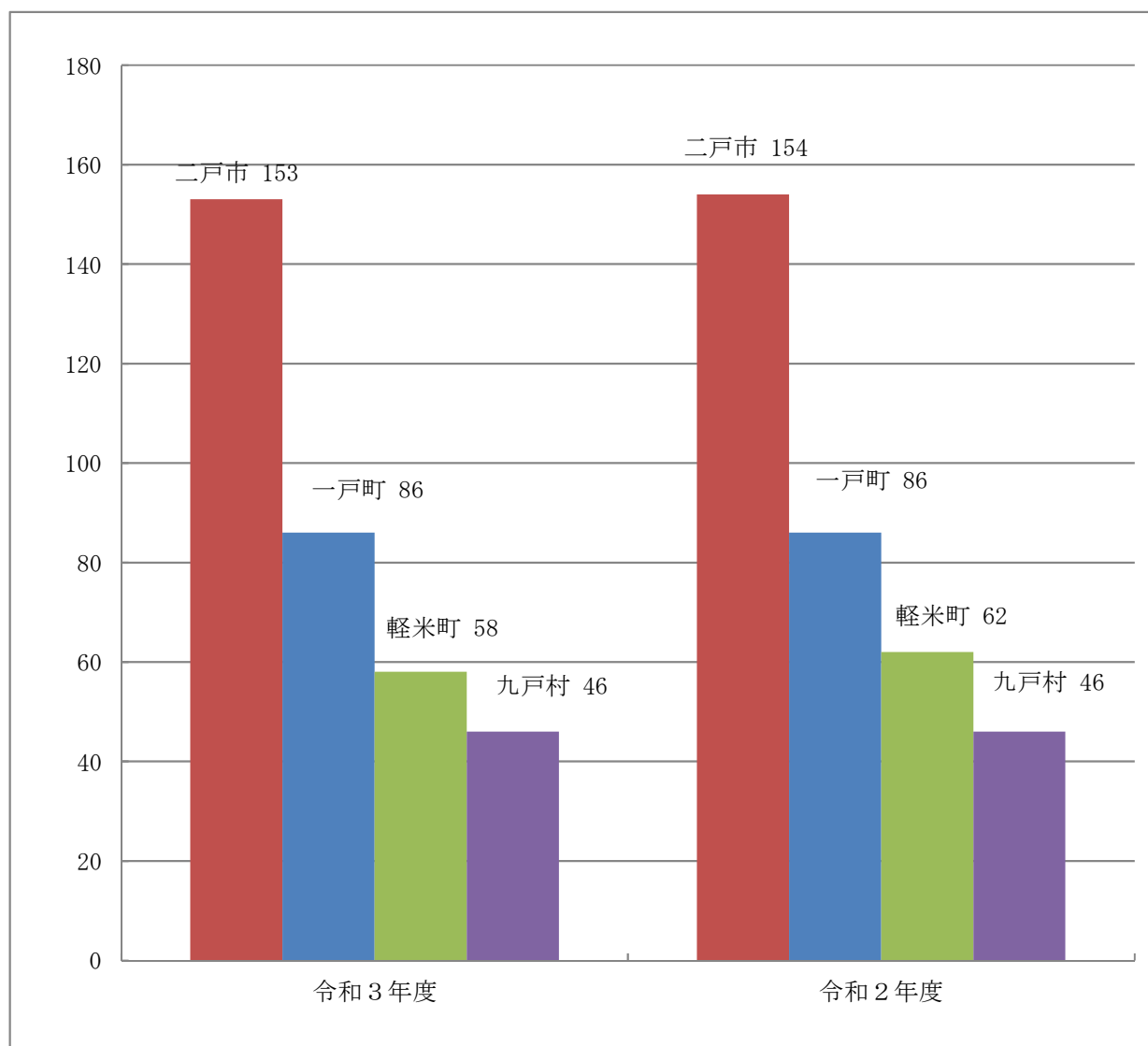
(5) 危険物施設

給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所等の危険物施設数は343施設であり、前年度に比べて6施設減少しています。

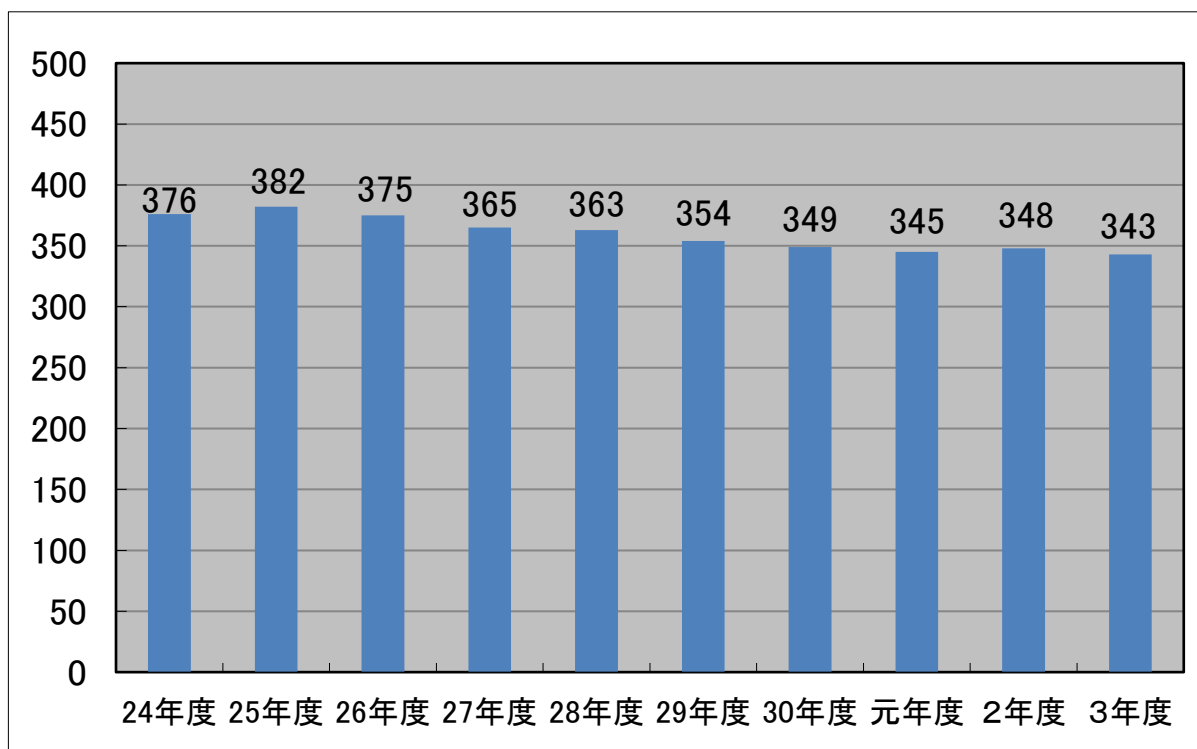
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
令和3年度	153	86	58	46	343
令和2年度	154	86	62	46	348
増減	△ 1	0	△ 4	0	△ 5

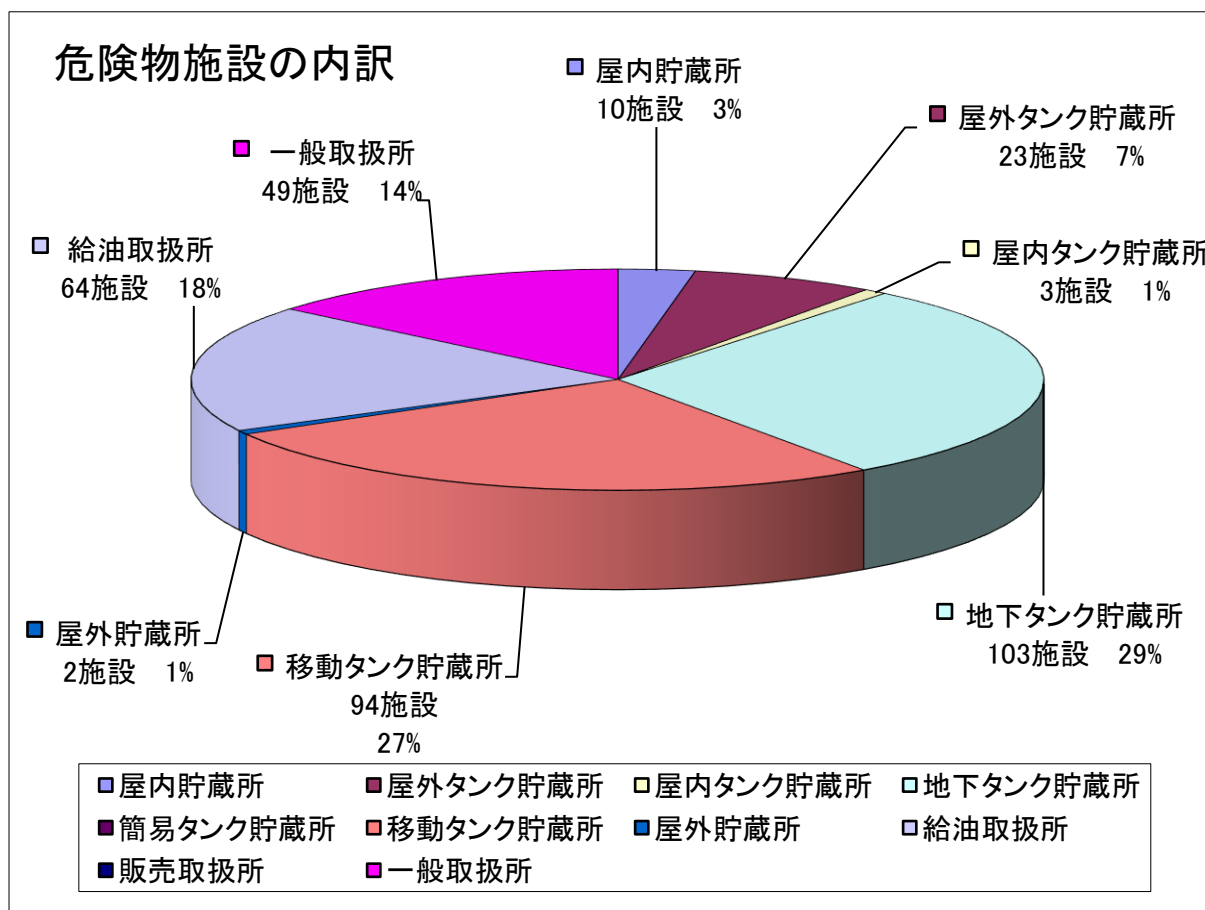
危険物施設の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の危険物施設の推移は、次のとおりです。



令和3年度中の危険物施設の内訳は次のとおりです。



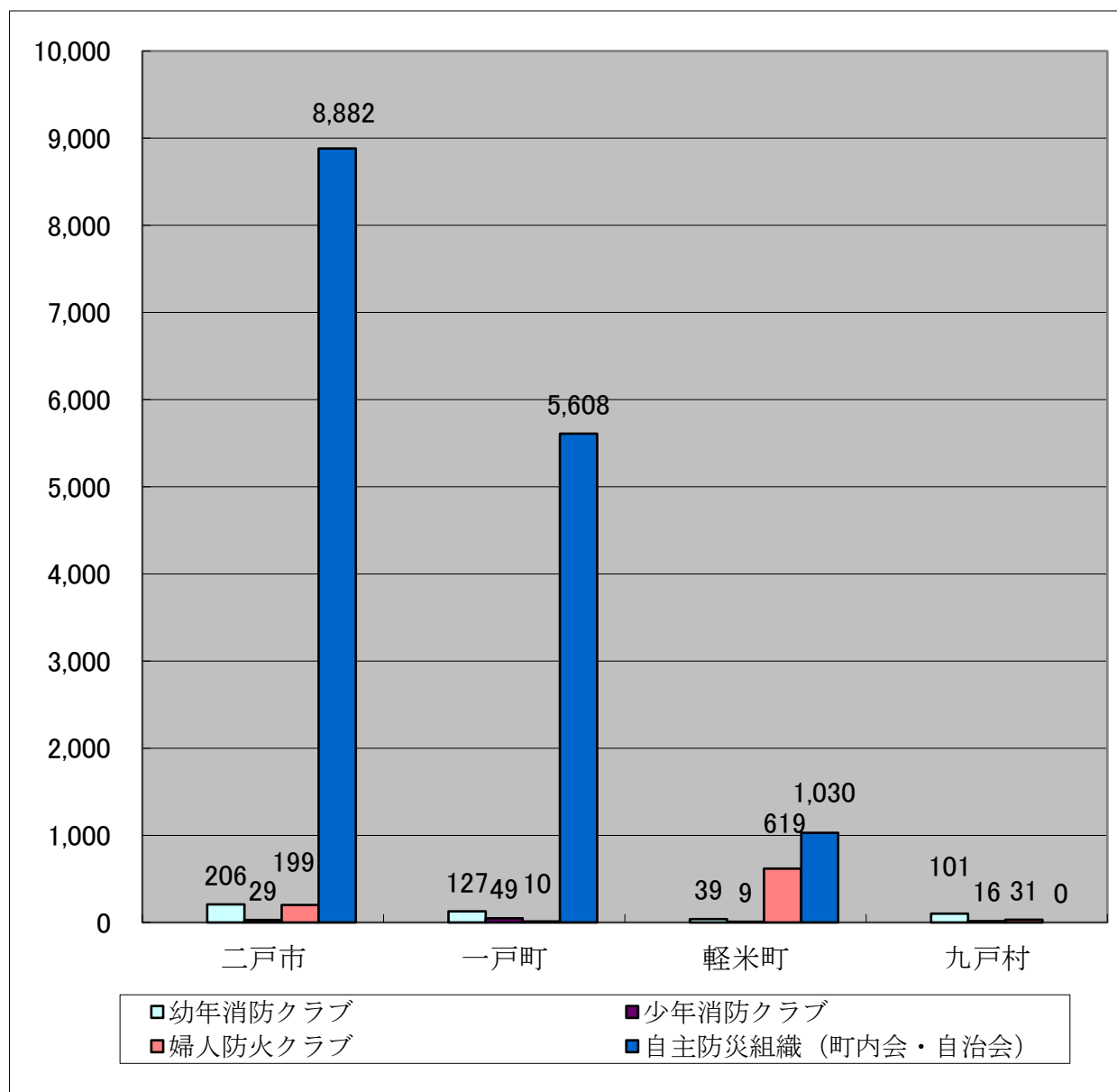
(6) 自主防災組織

防火クラブ等の自主防災組織は132団体であり、前年度に比べ25団体増加しました。
市町村別の組織状況は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区 分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
令和3年度	45	34	45	8	132
令和2年度	45	36	19	7	107
増 減	0	△ 2	26	1	25

自主防災組織会員数の内訳は、次のとおりです。



8 警 防

(1) 消防車両の配置状況

令和4年4月1日現在

区分 所属	消防ポンプ自動車				特殊消防自動車						救急自動車			その他の消防車両			合 計
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	消 防 ポ ン プ 付 大 型 水 槽 車	小 計	人 員 輸 送 車	無 線 中 継 車	屈 折 梯 子 車	救 助 工 作 車	資 機 材 搬 送 車	小 計	高 規 格 救 急 自 動 車	非 常 用 救 急 自 動 車	小 計	指 揮 車	広 報 車	小 計	
												1					
消 防 本 部		1	1	2	1	1	1	1	1	5		1	1		1	1	9
二 戸 消 防 署	1	1		2					1	1	1		1	1		1	5
一 戸 分 署	1	1		2						0	1		1		1	1	4
軽 米 分 署		1		1						0	1		1		1	1	3
浄 法 寺 分 署		1		1						0	1		1		1	1	3
九 戸 分 署		1		1						0	1		1		1	1	3
合 計	2	6	1	9	1	1	1	1	2	6	5	1	6	1	5	6	27

(2) 通信施設

令和4年4月1日現在

総合防災情報ネットワークシステム端末装置	防 災 行 政 無 線 端 末 装 置	火 災 ・ 救 急 専 用 電 話	衛 星 通 信 利 用 災 害 専 用 電 話	衛 星 携 帯 電 話	直 通 電 話 東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社	消防無線電話装置						
						固 定 局	基 地 局	移 動 局				
								消 防 ・ 救 急 デ ジ タ ル 無 線	消 防 ・ 救 急 デ ジ タ ル 無 線	車 載 型	卓 上 型	可 搬 型
1	5	6	6	15	1	2	2	29	6	7	37	

(3) 消防水利

令和4年4月1日現在

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計	
基準数		605	635	277	250	1,767	
現 有 数	消 火 栓	地上式	501	396	302	187	1,386
		地下式	0	0	0	0	0
		小 計	501	396	302	187	1,386
	防 火 水 槽	40m ³ 級未満	74	24	9	139	246
		40m ³ 級	279	140	201	13	633
		100m ³ 級	4	0	2	0	6
		小 計	357	164	212	152	885
	合 計		858	560	514	339	2,271
		基準に適合する水利数	784	536	505	200	2,025
	充 足 率 (%)		130%	84%	182%	80%	115%

※防火水槽の区分
 40 m³級未満 = 20 m³以上
 40 m³級 = 40 m³以上
 100 m³級 = 100 m³以上

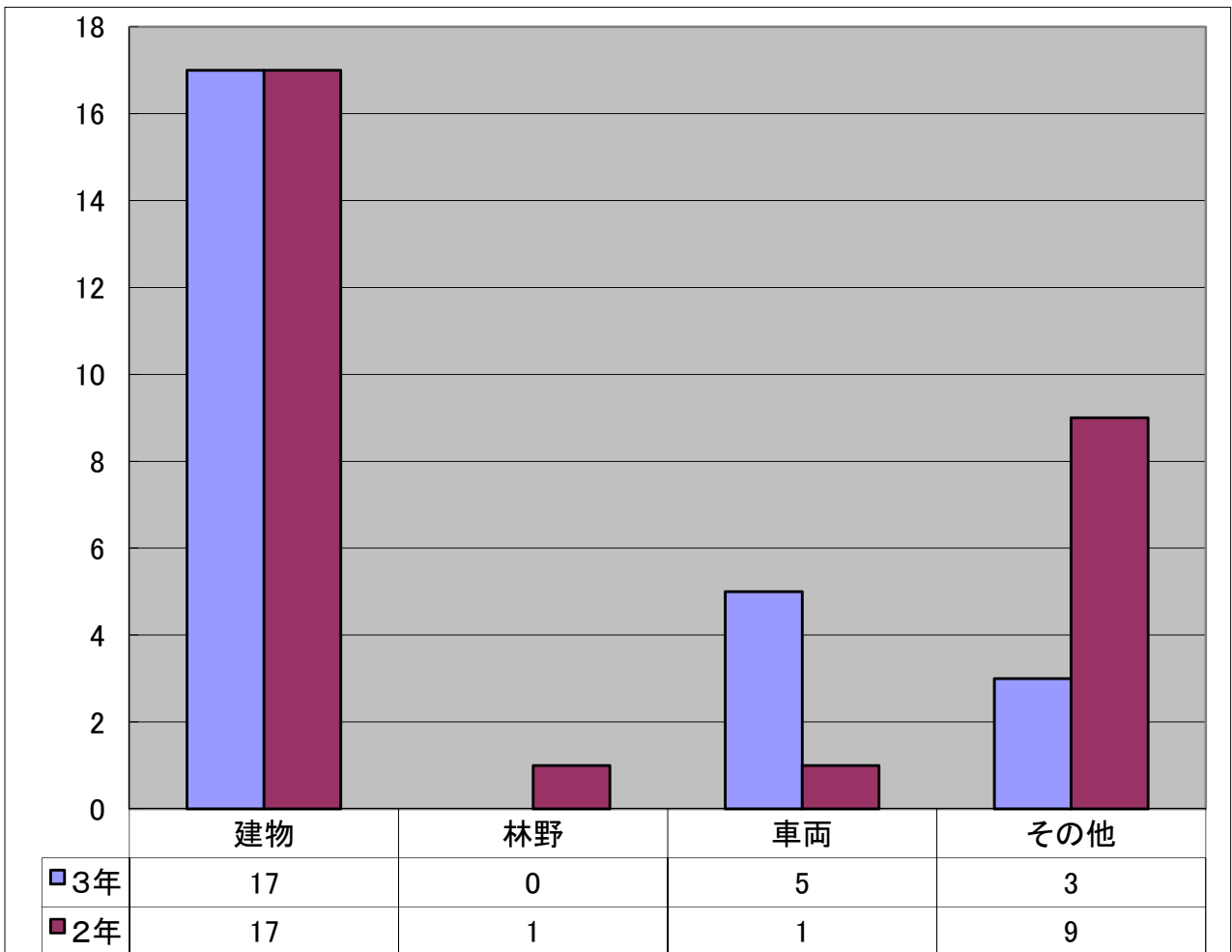
9 火 災

(1) 出火件数

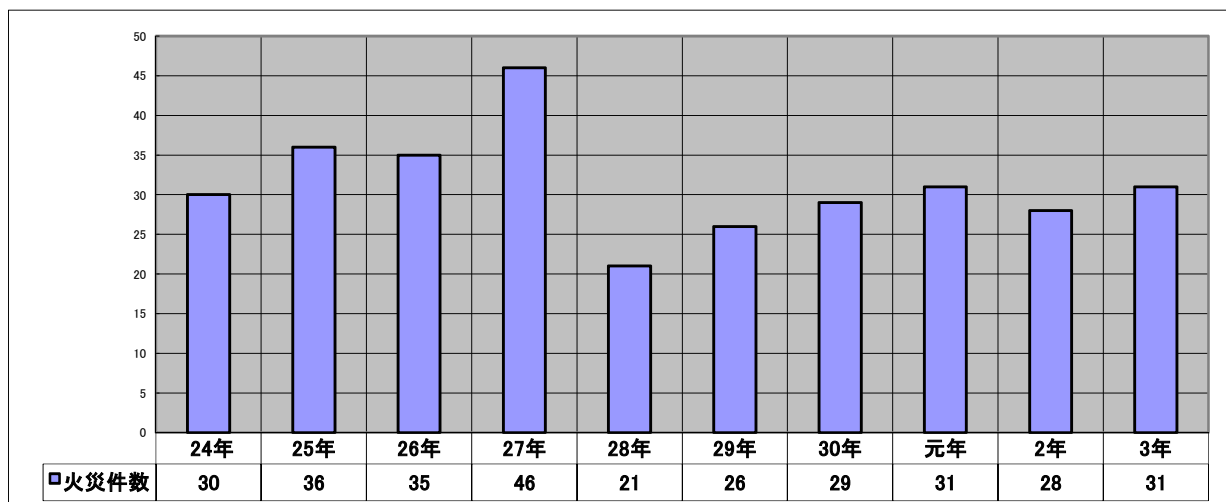
出火件数は、31件であり前年に比べ3件増加しています。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
出火件数	3年	18	8	3	2	31
	2年	11	8	3	6	28
	増減	7	0	0	△ 4	3
出火率 (%)	3年	6.9	6.8	3.5	3.6	
	2年	4.2	6.6	3.4	10.6	
	増減	2.7	0.2	0.1	△ 7.0	

火災種別ごとの出火件数は次のとおりです。



過去10年間の出火件数の推移は、次のとおりです。

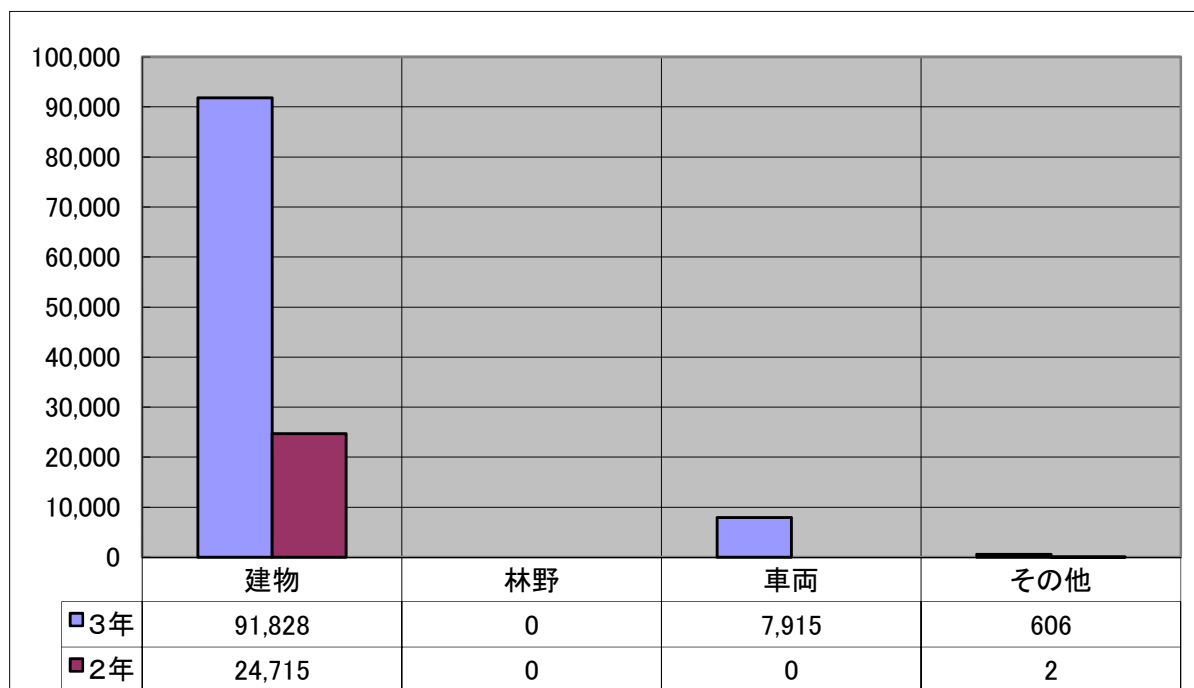


(2) 焼損面積及び損害額

建物火災の焼損面積は、2,595㎡であり、前年に比べ1,161㎡増加しています。
また、林野火災における焼損はありませんでした。

区 分	焼 損 面 積	
	建物火災 (㎡)	林野火災 (a)
3年	2,595	0
2年	934	1
増 減	1,661	△ 1

損害額は、100,349千円であり、前年に比べ75,632千円増加しています。



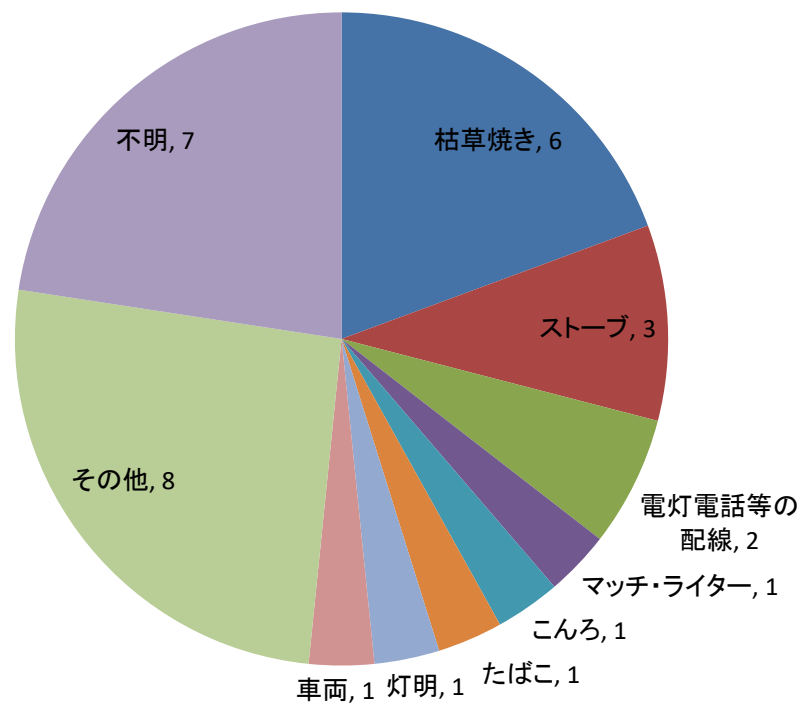
(3) 死傷者

火災による死者は5人で前年に比べて3人増加しました。
また、負傷者は前年に比べると2人減少しています。

区 分	死 者		負 傷 者
		うち65歳以上の高齢者	
3年	5	3	3
2年	2	0	5
増 減	3	3	△ 2

(4) 出火原因

火災の出火原因は、「枯草焼き」からの出火が6件で最も多く、次いで「ストーブ」「電灯・電話等の配線」の順となっています。
出火原因別の件数と割合は、次のとおりです。



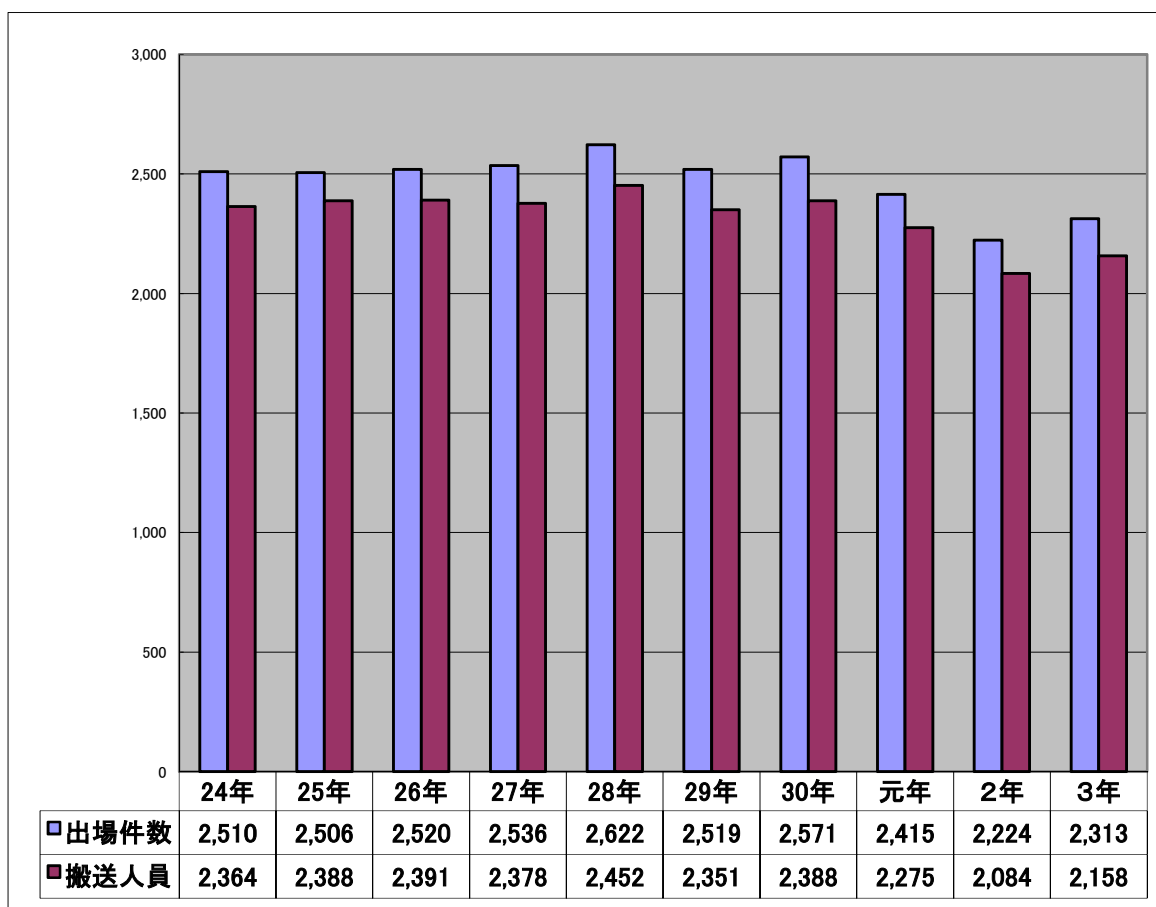
10 救 急

(1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は2,313件であり、前年に比べ89件増加しています。
 また、搬送人員は2,158人であり、前年に比べ74人増加しています。
 市町村別の出場件数及び搬送人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
出 場 件 数	3年	1,071	553	424	265	2,313
	2年	1,046	555	376	247	2,224
	増 減	25	△ 2	48	18	89
搬 送 人 員	3年	993	510	410	245	2,158
	2年	989	499	359	237	2,084
	増 減	4	11	51	8	74

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

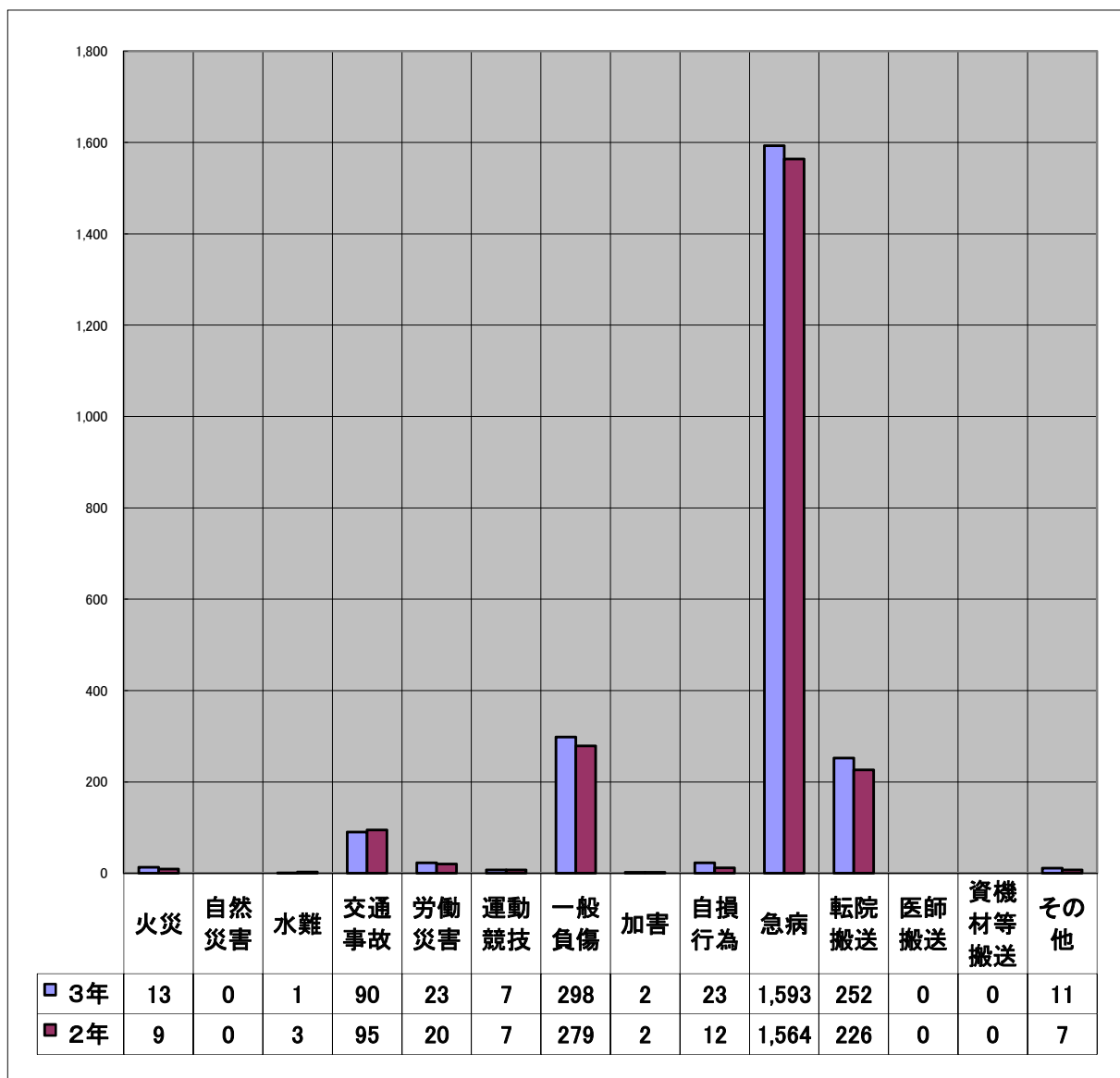


(2) 事故種別ごとの出場件数

事故種別ごとの出場件数は「急病」が1,564件で最も多く、前年に比べ70件減少しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
3年	13	0	1	90	23	7	298	2	23	1,593	252	0	0	11	2,313
2年	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	226	0	0	7	2,224
増減	4	0	△ 2	△ 5	3	0	19	0	11	29	26	0	0	4	89

事故種別ごとの出場件数を前年と比較すると、次のとおりです。

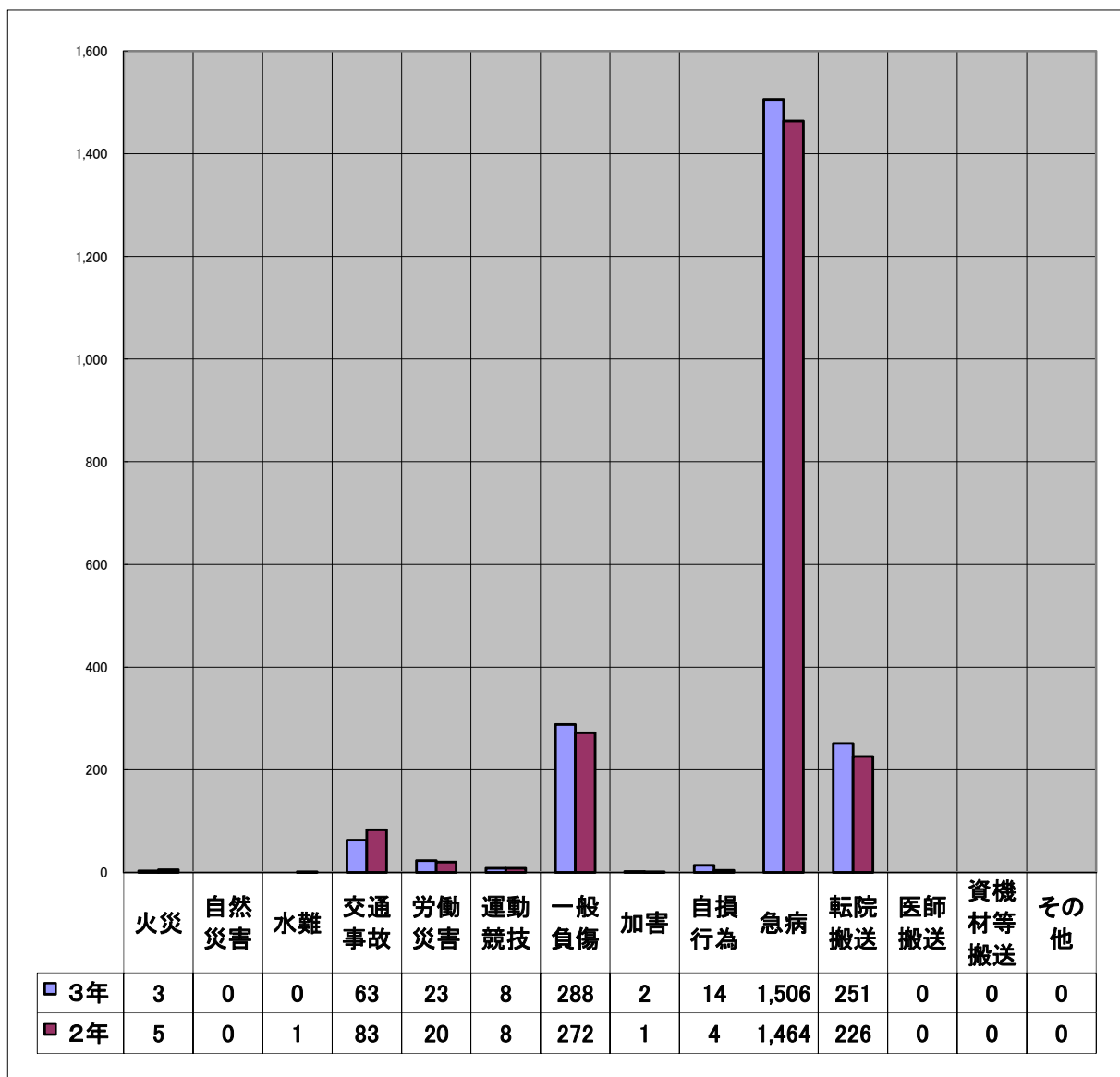


(3) 事故種別ごとの搬送人員

事故種別ごとの搬送人員は「急病」が1,506件で最も多く、前年に比べ42人増加しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
3年	3	0	0	63	23	8	288	2	14	1,506	251	0	0	0	2,158
2年	5	0	1	83	20	8	272	1	4	1,464	226	0	0	0	2,084
増減	△ 2	0	△ 1	△ 20	3	0	16	1	10	42	25	0	0	0	74

事故種別ごとの搬送人員を前年と比較すると、次のとおりです。

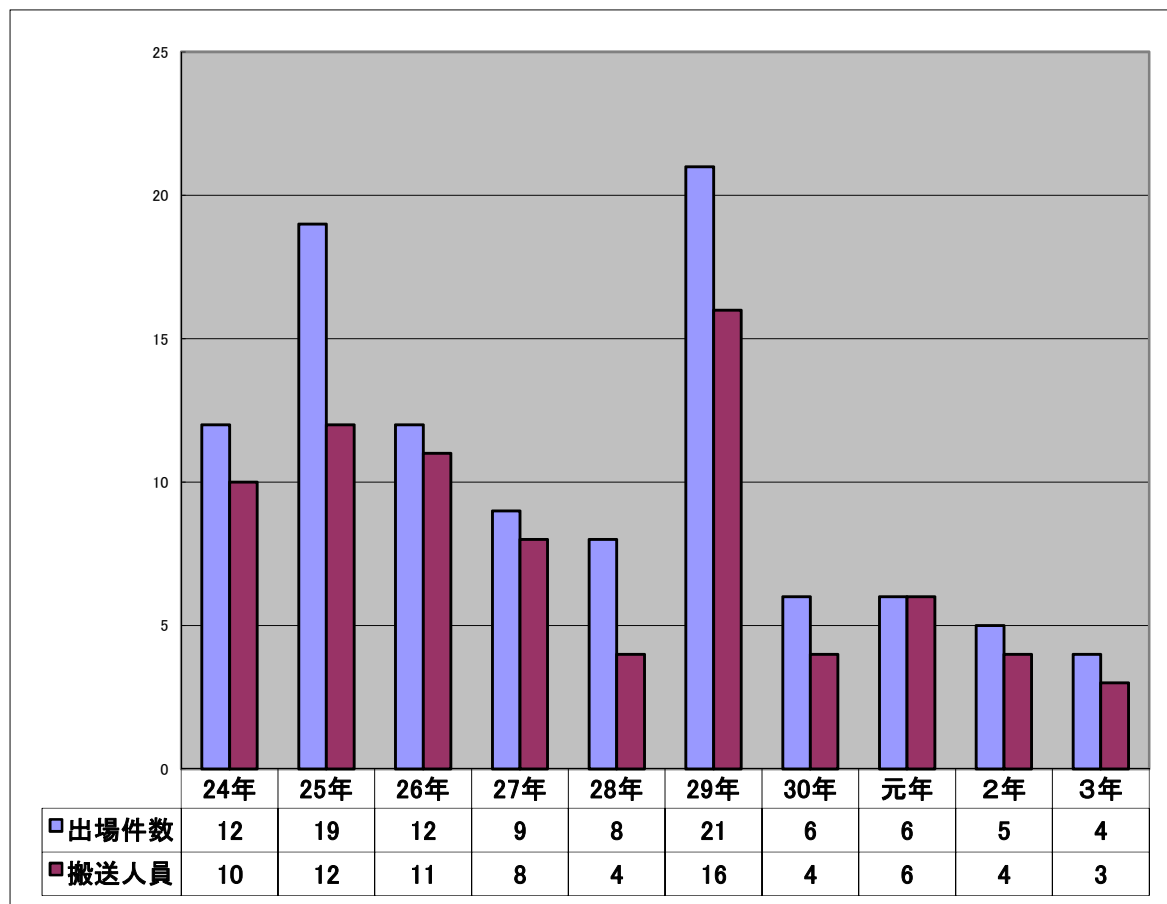


(4) 八戸自動車道における救急出動状況

八戸自動車道における救急出場件数は5件で、前年に比べ1件減少しています。
 また、搬送人員は4人で前年に比べ2人減少しています。
 市町村別の出場件数及び搬送人員は、次のとおりです。

	出動件数	搬送人員
令和3年	4	3
令和2年	5	4
増 減	△ 1	△ 1

過去10年間の出動状況の推移は、次のとおりです。



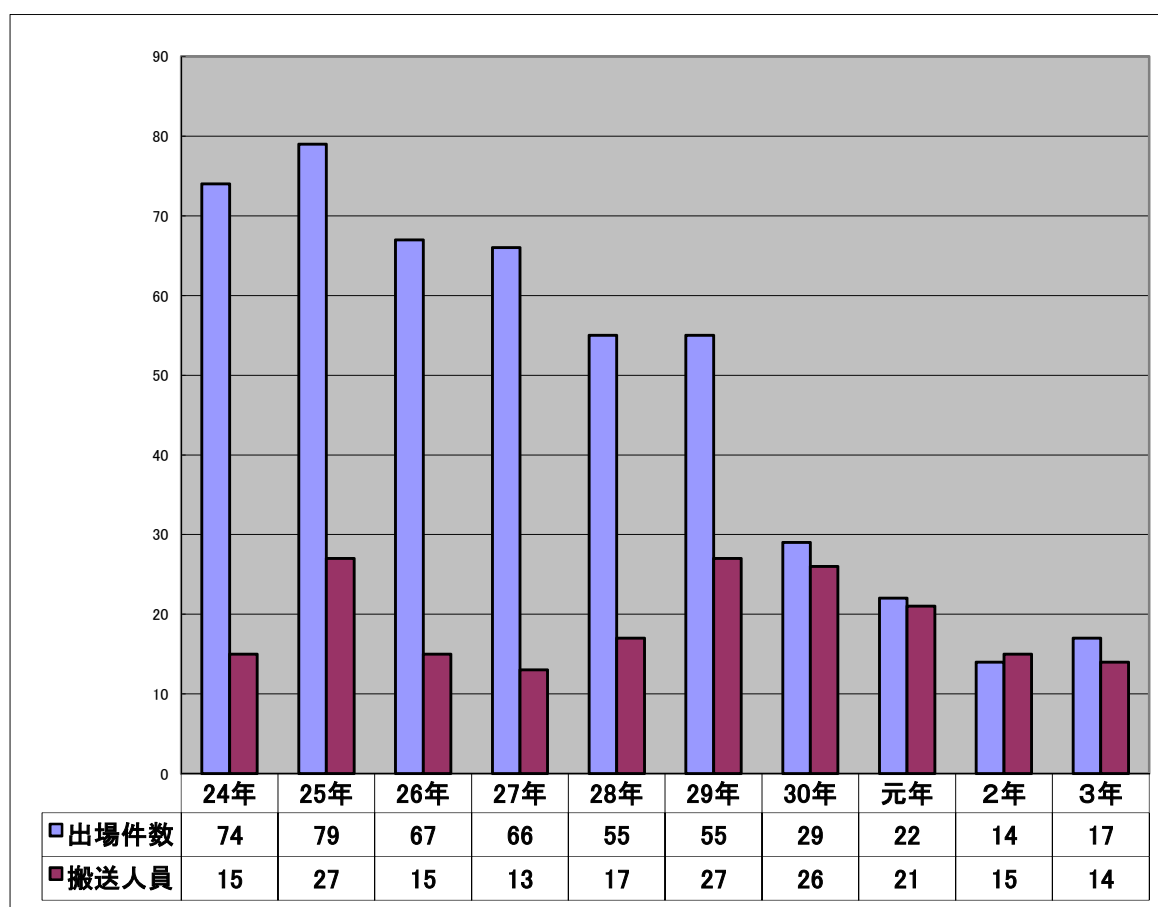
11 救 助

(1) 救助出場件数及び救助人員

出場件数は17件であり、前年に比べ3件増加しています。
 また、救助人員は14人であり、前年に比べ1人減少しました。
 市町村別の出場件数及び救助人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
出 場 件 数	3年	10	6	0	1	17
	2年	6	4	1	3	14
	増 減	4	2	△ 1	△ 2	3
搬 送 人 員	3年	9	3	0	2	14
	2年	8	3	1	3	15
	増 減	1	0	△ 1	△ 1	△ 1

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

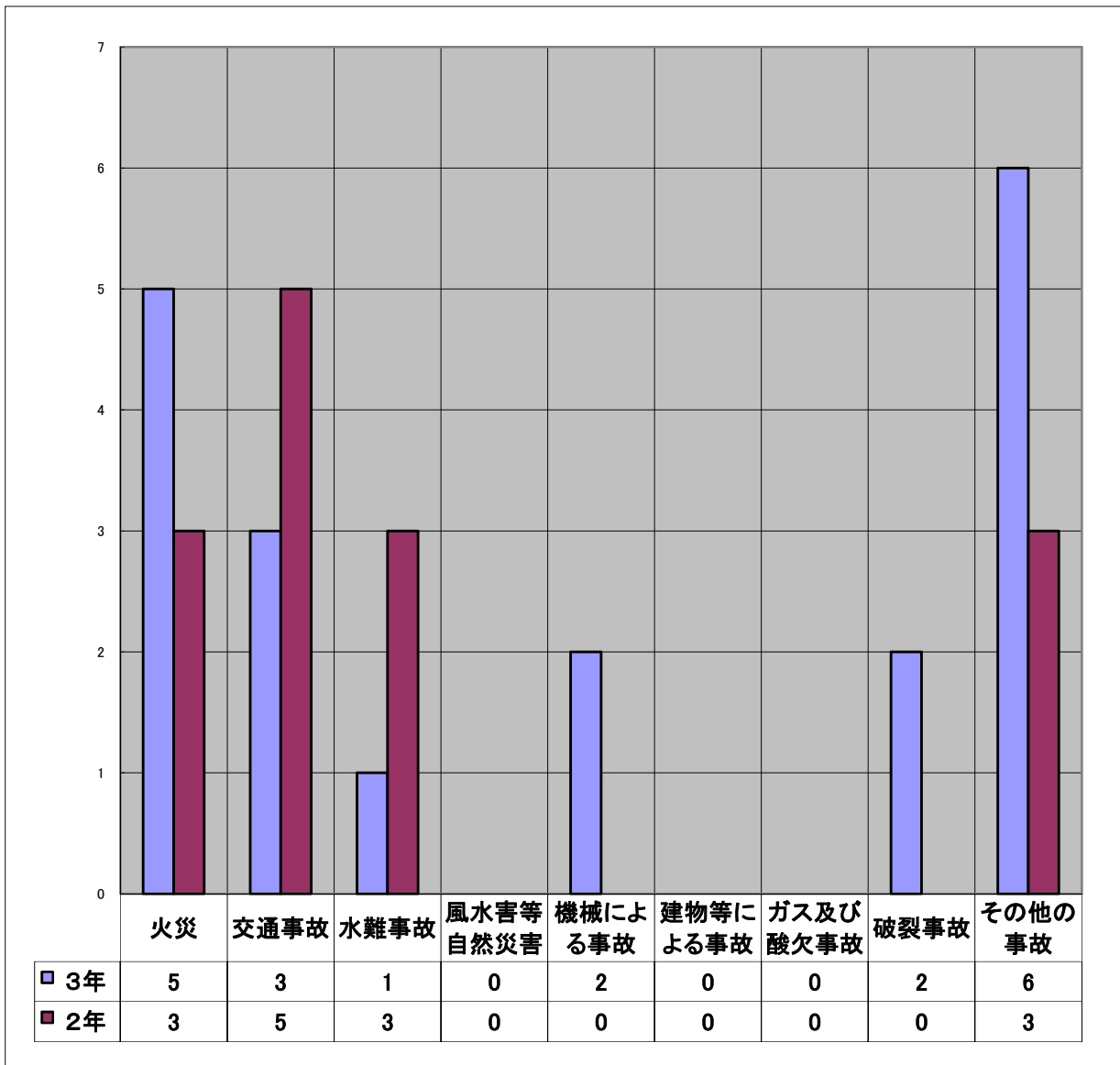


(2) 事故種別ごとの救助出場件数

事故種別ごとの出場件数は「その他事故」が6件で最も多く、次いで「火災」、「交通事故」、「機械による事故」の順となっています。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
3年	5	3	1	0	2	0	0	0	6	17
2年	3	5	3	0	0	0	0	0	3	14
増減	2	△ 2	△ 2	0	2	0	0	0	3	3

事故種別ごとの出場件数を前年と比較すると、次のとおりです。

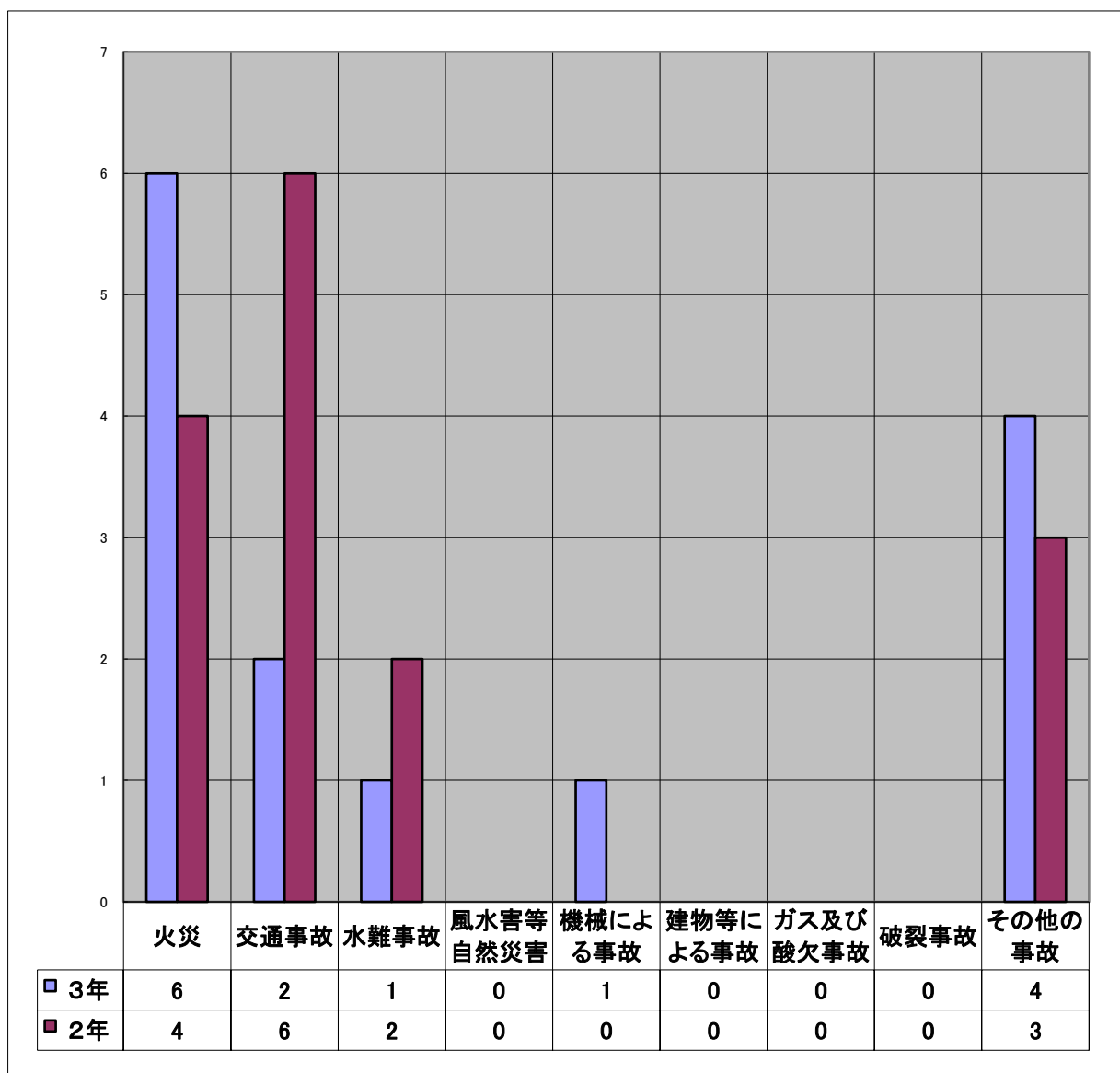


(3) 事故種別ごとの救助人員

事故種別ごとの救助人員は「火災」が6人で最も多く、次いで「その他事故」、「交通事故」の順となっています。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
3年	6	2	1	0	1	0	0	0	4	14
2年	4	6	2	0	0	0	0	0	3	15
増減	2	△4	△1	0	1	0	0	0	1	△1

事故種別ごとの救助人員を前年と比較すると、次のとおりです。



資 料 編



【御所野遺跡・一戸町】

「御所野遺跡」は平成元年に調査が始まり、平成20年からは北海道・北東北3県の縄文遺跡群構成資産の一つとして行政、町民が一体となって世界遺産登録を目指して取り組んできましたが、令和3年7月27日、第44回世界遺産委員会において「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産一覧表への掲載が決定しました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道、青森県、秋田県、岩手県の4道県に点在する17遺跡群で、縄文時代草創期から晩期の各時期の代表的な遺跡で構成されています。

「御所野遺跡」は縄文時代中期後半（5000年前～4200年前）の拠点集落跡で、縄文社会の移り変わりを解明するうえで非常に重要な位置づけとなっています。

令和 3 年度中の主要行事

月	日	行 事 内 容	開催場所等
4	1	辞令交付式及び管理者訓示	広域事務局など
	5	岩手県消防協会二戸地区支部総会	消防本部
	1 2	春季体力測定 (4/13まで)	消防本部
	1 6	二戸地区山火事防止パレード	管内全域
	1 9	二戸病院研修医救急車同乗実習 (4/23まで)	二戸病院
	2 6	火災・災害等即報に関する情報伝達訓練	通信指令室
5	3	二戸市消防演習	二戸市
	9	一戸町消防演習	一戸町
	1 3	八戸ドクターヘリ・ドクターカー事後検証会 (オンライン視聴研修)	消防本部
	2 1	岩手県消防協会二戸地区支部団長等会議	消防本部
	2 5	令和 3 年第 1 回二戸地区広域行政事務組合議会臨時会	広域事務局
	2 6	二戸地区危険物安全協会理事会	消防本部
6	1	令和 3 年度土砂災害情報伝達訓練	通信指令室
	3	消防救助技術岩手県大会施設開放に伴う出向訓練 (6/4まで)	岩手県消防学校
	9	アイソレーター取扱い説明会	二戸保健所
	1 0	九戸分署庁舎建設安全祈願祭 (起工式)	九戸村
	1 1	第 4 4 回消防救助技術岩手県大会	岩手県消防学校
	1 5	土砂災害危険箇所パトロール	一戸町
	1 6	オリンピック・パラリンピック聖火リレー警備	二戸市・一戸町
	1 8	高機能救命ボート操船訓練 (7/16まで 6 回実施)	軽米・世増ダム
7	9	消防用設備等実務研修会	盛岡市
		感染防止対策研修会 (オンライン視聴研修)	消防本部
	1 0	東北救急医学会総会 (オンライン視聴研修)	消防本部
	1 6	二戸地区危険物安全協会定例総会	二戸パークホテル
		全国山岳遭難対策協議会 (オンライン視聴研修)	消防本部
	1 9	第 1 回二戸地域メディカルコントロール協議会	消防本部
	2 6	緊急消防援助隊岩手県大隊応援時情報伝達訓練	通信指令室
	2 7	令和 3 年度消防職員委員会	消防本部
8	2	交通規制対策協議会	二戸警察署
	5	水難救助講習 (署内講習)	消防本部
	1 0	初任教育学生実務研修 (8/13まで)	消防本部
		令和 3 年度救急救命士業務開始式	消防長室
	1 1	水難救助訓練 (実地訓練)	馬淵川公園
	1 3	お盆特別警戒 (8/16まで)	管内全域
	3 1	第 2 回二戸地区広域行政事務組合議会臨時会及び全員協議会	広域事務局
9	9	実働指導救命士認定証交付式	消防長室
	1 5	秋季体力測定 (9/16まで)	消防本部
	2 7	救急救命士新規養成者救急車同乗実習 (9/28まで)	消防本部
1 0	1	辞令交付式	消防長室
	6	救急功労者表彰 (消防庁長官表彰) 表彰伝達式	消防本部

月	日	行 事 内 容	開催場所等
10	7	第1回岩手県ドクターヘリ新生児搬送訓練	二戸病院
	13	救助合同訓練参加者選考会	消防本部
	14	八戸ドクターヘリ・ドクターカー事後検証会（オンライン視聴研修）	消防本部
	18	令和3年第2回二戸地区広域行政事務組合議会定例会	広域事務局
	21	テロ災害対応力向上（止血措置）講習会	消防本部
	27	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（情報伝達訓練）	通信指令室
	28	ハラスメント等相談窓口相談員研修（リモート研修）	消防本部
11	4	岩手医大生による地域医療臨床実習	消防本部
	9	秋季全国火災予防運動（11/15まで）	管内全域
	17	空気呼吸器自主点検に係る研修会	消防本部
	19	応急手当普及員講習（第1回）	消防本部
	25	全国消防技術者会議（オンライン視聴研修・11/26まで）	消防本部
	29	構成市町村消防主管課長会議	消防本部
12	2	馬淵川水系水質情報想定通報演習	通信指令室など
	3	応急手当普及員講習（第2回）	消防本部
	7	消防職員意見発表会二戸地区選考会	消防本部
	8	アイソレーター取扱訓練	一戸病院
	12	消防職員採用第1次試験	消防本部
	17	応急手当普及員講習（第3回）	消防本部
	29	年末年始特別警戒（1/3まで）	管内全域
1	3	二戸市消防出初式	二戸市
		軽米町消防出初式	軽米町
	4	管理者年頭訓示（特別点検中止）	広域事務局
	7	二戸地区支部団長等会議及び新年交賀会	消防本部など
	9	九戸村出初式	九戸村
	16	消防職員採用第2次試験	消防本部
	19	カシオペア仕事メッセ	なにゃーと
	25	第2回岩手県ドクターヘリ新生児搬送訓練	二戸病院
	28	労働安全衛生法特別教育（署内研修）	消防本部
31	二戸病院研修医救急車同乗実習（2/4まで）	二戸病院	
2	2	火災予防ポスターコンクール	消防本部
	8	二戸地区広域行政事務組合議会全員協議会	広域事務局
	14	令和4年第1回二戸地区広域行政事務組合定例会	広域事務局
	25	寄附採納に伴う寄贈式（のぼり旗）	消防本部
3	1	春季全国火災予防運動（3/7まで）	管内全域
	9	第2回二戸地域メディカルコントロール協議会	消防本部
	14	令和3年度消防大学校特別講習会（オンライン受講）	消防本部
	16	林野火災対策説明会（オンライン研修）	消防本部
	24	二戸消防署九戸分署新庁舎落成式	九戸村
	31	退職者辞令交付式	消防本部

< 総 務 >

職 員 数

令和4年4月1日現在の職員数は次のとおりです。

定 数	職 員 数 (うち再任用職員)
115人	115人 (1人)

* 職員の採用状況
令和4年4月1日付 1名採用

研 修 ・ 資 格 講 習 派 遣

令和3年度研修・資格講習派遣計画に基づき実施した受講者数は次のとおりです。

研 修 区 分		修了者	研 修 区 分	修了者	
岩 手 県 消 防 学 校	初 任 教 育	4	消 防 大 学 校 救 急 関 係	危 険 物 科	1
	上 級 幹 部 科	2		警 防 科	1
	初 ・ 中 級 幹 部 科	3		東京研修所(新規養成)	1
	警 防 科	2		九州研修所(指導救命士講習)	(開催中止)
	救 助 科	2	資 格 系	二級小型船舶操縦士	2
	救 急 科	2		小型移動式クレーン講習	2
	予 防 総 合 科	(未開催)		玉 掛 け 技 能 講 習	2
	火 災 調 査 科	2		小型車両系建設機械運転	2
	土 砂 災 害 特 別 講 習	7			

表 彰 受 章 者

令和3年度消防関係表彰受章状況は次のとおりです。

表 彰 区 分		受章(賞)者
消 防 庁 長 官 表 彰	救急功労者表彰	1
	永年勤続功労章	1
岩 手 県 知 事 表 彰	功 績 章	2
組 合 管 理 者 表 彰	功 労 章	2
全 国 消 防 長 会	消 防 特 別 功 労 表 彰	1
	永年勤続功労者表彰	30年
全 国 消 防 長 会 東 北 支 部	(該当者なし)	
(公財)岩手県消防協会	功 績 章	2
	内 助 功 労 賞	1(令夫人)
(公財)日本消防協会	(該当者なし)	
(一財)全国消防協会	全 国 優 良 消 防 職 員 表 彰	1

消防職員の配置状況

令和4年4月1日現在

階級 所属	合計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員
合計	115	1	3	9	29	25	18	30	
消防本部	16 (6)	1	2	2	7 (2)	4 (3)	0 (1)	0	
二戸消防署	33		1	3	9	5	6	9	
一戸分署	19			1	4	4	3	7	
軽米分署	16			1	3	4	3	5	
浄法寺分署	15			1	3	4	3	4	
九戸分署	16			1	3	4	3	5	

※ () 内は署兼務者数

階級別・年齢別職員数

令和4年4月1日現在

階級別 年齢別	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	合計
20歳未満							3	3
21歳～25歳							9	9
26歳～30歳						11	18	29
31歳～35歳					7	7		14
36歳～40歳					10			10
41歳～45歳				6	7			13
46歳～50歳				13				13
51歳～55歳			5	10				15
56歳以上	1	3	4		1			9
人 員	1	3	9	29	25	18	30	115

在職年数別消防職員数

令和4年4月1日現在

区 分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
5年未満							11	11
5年～9年						3	19	22
10年～14年					8	15		23
15年～19年					8			8
20年～24年				2	8			10
25年～29年				19				19
30年～34年			4	8				12
35年以上	1	3	5		1			10
合 計	1	3	9	29	25	18	30	115

職員の資格取得状況

令和4年4月1日現在

免許等の区分		署分署別		消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署	計	
運転免許・整備	大型免許			14	27	18	12	10	13	94	
	中型免許				1		1		1	3	
	準中型免許			2	3	1	1	2		9	
	大型特殊免許			3	3	5	3	3	3	20	
	けん引免許								1	1	
	自動二輪			4	8	3	2	1	3	21	
	小型車両系建設機械技能講習			5	7	3	1	1	4	21	
	自動車整備士	2級							1	1	
予防・危険物	消防設備士	乙4類			1					1	
		乙6類	4	4	1		1			10	
	危険物取扱者	乙1類				1			1		2
		乙2類							2	1	3
		乙3類				1			2	1	4
		乙4類	3	8	7	7	5	7			37
		乙5類				1			1		2
		乙6類							2	1	3
	予防技術資格者	丙種	1	1	1	1	1	1	1	1	6
		査察	1	8	5	4	7	2			27
		設備等	1	2	2	3	4				12
無線	陸上特殊無線技士	2級		11	12	3	4	4	3	37	
		3級		2	17	12	9	8	10	58	
救急・救助	救急救命士(うち指導救命士)			3(2)	11(2)	6	5	6	5	36(4)	
	救急隊員資格者			12	19	12	9	7	9	68	
	墜落制止用器具特別教育			2	19	18	16	13	14	82	
	玉掛技能			11	12	6	5	3	5	42	
	移動式クレーン			11	13	6	5	3	4	42	
	小型船舶操縦士			6	6	5	2	1		20	
	有機溶剤作業主任者								1	1	
	特定化学物質作業主任者				2	1		3		6	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			7	4	4	3	2	2	22	
	ガス・電気溶接			1	2		1		2	6	
	着衣泳指導員				1			1		2	
その他	安全衛生推進者			4	1	1			1	7	
	甲種火薬類取扱保安責任者								1	1	

< 予 防 >

防 火 対 象 物 の 状 況

令和4年3月31日現在

防火対象物の区分		署分署別		二戸分署	一戸分署	軽米分署	浄法寺署	九戸分署	合 計
		二 消 防 署	一 戸 分 署						
1	イ	劇場・映画館等	2	2	1			1	6
	ロ	公会堂・集会場	10	4	6	7	4	31	
2	イ	キャバレー等							0
	ロ	遊技場等	3	1	1			5	
	ハ	風俗営業等						0	
	ニ	カラオケボックス等	1					1	
3	イ	待合・料理店等						0	
	ロ	飲食店	13	6	2	1	5	27	
4		百貨店等	50	18	10	9	8	95	
5	イ	旅館・ホテル等	18	3	3	3	3	30	
	ロ	共同住宅等	164	64	16	1	6	251	
6	イ	病院・診療所等	13	7	4	2		26	
	ロ	養護老人ホーム等	21	24	5	4	4	58	
	ハ	デイサービス等	24	34	7	7	5	77	
	ニ	幼稚園等	2	5	1			8	
7		学 校 等	46	34	17	4	19	120	
8		図書館・博物館等	5	2	4	1	1	13	
9	イ	蒸気・熱気浴場等						0	
	ロ	イ以外の公衆浴場		3			1	4	
10		車両の停車場	3	1				4	
11		神社・寺院・教会	19	3	9	2	7	40	
12	イ	工場・作業場	125	70	48	35	51	329	
	ロ	テレビスタジオ等						0	
13	イ	車庫・駐車場	9	13	8	4	7	41	
	ロ	飛行機等格納庫						0	
14		倉 庫	101	73	41	35	31	281	
15		前各項に該当しない事業場	382	412	497	158	568	2,017	
16	イ	複合用途（特定）	64	32	16	11	17	140	
	ロ	複合用途（非特定）	52	17	15	9	7	100	
16の2		地 下 街						0	
16の3		準 地 下 街						0	
17		重要文化財等	2	2	2	2		8	
18		ア ー ケ ード						0	
合 計			1,129	830	713	295	745	3,712	

署分署別建築同意状況

令和4年3月31日現在

防火対象物の区分		署分署別	二 消 防 署	一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 署	九 戸 分 署	計
1	イ	劇場・映画館等						0
	ロ	公会堂・集会場	1				1	2
2	イ	キャバレー等						0
	ロ	遊技場等						0
	ハ	風俗営業等						0
	ニ	カラオケボックス等						0
3	イ	待合・料理店等						0
	ロ	飲食店						0
4		百貨店等	1	2			4	7
5	イ	旅館・ホテル等						0
	ロ	共同住宅等						0
6	イ	病院・診療所等						0
	ロ	養護老人ホーム等						0
	ハ	デイサービス等		1	1			2
	ニ	幼稚園等						0
7		学 校 等					2	2
8		図書館・博物館等						0
9	イ	蒸気・熱気浴場等						0
	ロ	イ以外の公衆浴場						0
10		車両の停車場						0
11		神社・寺院・教会	1					1
12	イ	工場・作業場	1			1		2
	ロ	テレビスタジオ等						0
13	イ	車庫・駐車場	1				1	2
	ロ	飛行機等格納庫						0
14		倉 庫	1		1	1	2	5
15		前各項に該当しない事業場	10	1	5	5	5	26
16	イ	複合用途（特定）						0
	ロ	複合用途（非特定）	1	1				2
16の2		地 下 街						0
16の3		準 地 下 街						0
17		重要文化財等						0
18		ア ー ケ ー ド						0
計			17	5	7	7	15	51
建築種別	新 築		16	4	5	7	12	44
	増 築		1	1	2		3	7
	改 築							0
	その他							0

中高層建築物の用途別の状況

令和4年3月31日現在

防火対象物の区分		階数別	階 数 別					計	
			3階	4階	5階	6階	7階		8階
1	イ	劇場・映画館等	0	0	0	0	0	0	
	ロ	公会堂・集会場	2	1	0	0	0	3	
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	
	ロ	遊技場等	0	0	0	0	0	0	
	ハ	風俗営業等	0	0	0	0	0	0	
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0	
3	イ	待合・料理店等	0	0	0	0	0	0	
	ロ	飲食店	3	0	0	0	0	3	
4		百貨店等	2	0	0	0	0	2	
5	イ	旅館・ホテル等	1	0	2	1	0	4	
	ロ	共同住宅等	37	10	6	0	1	54	
6	イ	病院・診療所等	1	2	1	0	0	4	
	ロ	養護老人ホーム等	8	1	0	0	0	9	
	ハ	デイサービス等	1	1	0	0	0	2	
	ニ	幼稚園等	0	0	0	0	0	0	
7		学校等	25	3	0	0	0	28	
8		図書館・博物館等	2	0	0	0	0	2	
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0	0	0	0	0	0	
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	
10		車両の停車場	1	0	0	0	0	1	
11		神社・寺院・教会	0	0	0	0	0	0	
12	イ	工場・作業場	9	3	0	0	0	12	
	ロ	テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0	
13	イ	車庫・駐車場	0	0	0	0	0	0	
	ロ	飛行機等格納庫	0	0	0	0	0	0	
14		倉庫	2	0	0	0	0	2	
15		前各項に該当しない事業場	25	12	3	0	0	41	
16	イ	複合用途（特定）	23	0	2	1	0	26	
	ロ	複合用途（非特定）	12	1	0	0	0	13	
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0	
16の3		準地下街	0	0	0	0	0	0	
17		重要文化財等	0	0	0	0	0	0	
18		アーケード	0	0	0	0	0	0	
合 計			154	34	14	2	1	1	206
市町村別	二	戸 市	99	25	11	1	1	1	138
	一	戸 町	29	2	3	1	0	0	35
	軽	米 町	15	5	0	0	0	0	20
	九	戸 村	11	2	0	0	0	0	13

防火対象物定期点検報告制度の状況

令和4年3月31日現在

区分		市町村別				合 計
		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	
該当防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)	27	14	7	2	50
	特定一階段該当	1				1
	合 計	28	14	7	2	51
点検報告済防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)	17	8	6	1	32
	特定一階段該当	1				1
	合 計	18	8	6	1	33
特例認定済防火対象物	収容人員該当 (特定300人)	3		1		4
	特定一階段該当					0
	合 計	3	0	1	0	4

危険物施設の状況

令和4年 3月31日現在

区分		市町村別				合計
		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	
合計		153	86	58	46	343
製造所						
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	5		2	10
	屋外タンク貯蔵所	9	5	4	6	24
	屋内タンク貯蔵所	1	1		1	3
	地下タンク貯蔵所	51	27	16	7	101
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	40	23	16	12	91
	屋外貯蔵所	1	1			2
	小計	109	62	36	28	231
取扱所	給油取扱所 (自家用)	29 (12)	13 (4)	16 (6)	6 (1)	64 (23)
	販売取扱所					
	一般取扱所	19	11	6	12	48
	小計	48	24	22	18	112

自主防災組織の状況

令和4年3月31日現在

市町村別 区分		二戸市		一戸町		軽米町		九戸村		計	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
幼年消防クラブ	幼稚園									0	0
	保育園	1	58	1	11	1	39	2	69	5	177
	児童館									0	0
	その他	1	148	2	116			1	32	4	296
	小計	2	206	3	127	1	39	3	101	9	473
少年消防クラブ	小学校	1	29	2	49			1	16	4	94
	中学校									0	0
	地区単位					1	9			1	9
	その他									0	0
	小計	1	29	2	49	1	9	1	16	5	103
婦人防火クラブ	市街地	2	62							2	62
	農山村地域	4	184	1	10	32	619	3	31	40	844
	その他									0	0
	小計	6	246	1	10	32	619	3	31	42	906
自主防災組織	町内会 自治会	36	8,882	28	5,608	11	1,030			75	15,520
	その他									0	0
	小計	36	8,882	28	5,608	11	1,030	0	0	75	15,520
合計		45	9,363	34	5,794	45	1,697	7	148	131	17,002

< 警 防 >

通 信 施 設 等 の 状 況

令和4年4月1日現在

通 信 施 設 等 名			設 置 場 所						計	
消 防 救 急 業 務 用 無 線 局	デ ジ タ ル 無 線	固定局（多重）	消防本部、折爪						2	
		基 地 局	基地局	折爪						1
			簡易基地局	奥中山						1
			消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署	計	
	移 動 局	車 載 型	10	6	4	3	3	3	29	
		卓 上 型	1	1	1	1	1	1	6	
		可 搬 型	1	2	1	1	1	1	7	
		携 帯 型	3	9	7	6	6	6	37	
	受 令 機		3	1	1	1	1	1	8	
	署活動系（400MHz帯）		17	33	19	16	14	16	115	
防災相互波（150MHz帯）		2						2		
市 防 無	町 災 行 政 線	村 放 送 設 備 (サイレン吹鳴可)		1	1	1		1	4	
報知専用電話回線（固定119番）		2						2		
"（携帯119番）		2						2		
一 般 加 入 電 話	電 話 回 線 数		17	8	5	5	5	5	45	
	うちFAX回線		2	1	1	1	1	1	7	
	内 線 数	庁 舎 分	30	27	9	9	9	9	93	
		構 内 P H S	4	4					8	
直 通 電 話	回 線 数	市 役 所 ・ 役 場		1		1	1		3	
		東日本高速道路	1						1	
携 帯 電 話	携 帯 電 話 数		2	5	2	2	2	2	15	
	うち救急車積載携帯電話			1	1	1	1	1	5	
衛 星 携 帯 電 話	衛 星 携 帯 電 話 数		5	2	3	3	3	3	19	
	うち救急車積載携帯電話			1	1	1	1	1	5	
庁 内 放 送 装 置			1	1	1	1	1	1	5	

消防車両等の保有状況

令和4年4月1日現在

	車 両 名	車 名	登録年月	艤装業者名	備 考
消 防 本 部	連 絡 車	スバル XV	R 1. 6		
	司 令 車	トヨタ カルディナ	H19. 3		
	人 員 輸 送 車	トヨタ ハイエース	H24. 12		乗車定員14人
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H12. 1	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 (予備車)
	屈折梯子車	日野 レンジャー	H 8. 3	日本機械	Σ型 20m級
	救助工作車	日野 レンジャー	H25. 12	テイセン	II型 4WD
	資機材搬送車	いすゞ エルフ	H12. 5		4WD パワーゲート
	指揮車(無線中継車)	トヨタ ハイエース	H27. 8	オートワークス 京都	4WD
	大型水槽車	日野 プロフィア	H30. 3	日本機械	積載水10,000ℓ ポンプ付 後輪2軸駆動
	高規格救急自動車	トヨタ グランビア	H16. 12	トヨタ テクノクラクト	4WD 4WS (予備車)
二 戸 消 防 署	広 報 車	トヨタ ランドクルーザー	R 1. 9		4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H25. 3	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	H31. 2	日本機械	積載水800ℓ 4WD ホースカー付
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H29. 10	トヨタ テクノクラクト	4WD
	資機材搬送車	トヨタ ハイエース	H19. 11		4WD
	連 絡 車	ホンダ バモスホビオ	H28. 1		
一 戸 分 署	広 報 車	日産 エクストレイル	H19. 9		4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	R 1. 12	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD
	消防ポンプ自動車	三菱 キャンター	H13. 1	日本機械	4WD
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H25. 11	トヨタ テクノクラクト	4WD 緊急消防援助隊登録車両
軽 米 分 署	広 報 車	日産 エクストレイル	H20. 7		4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H25. 11	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H28. 1	トヨタ テクノクラクト	4WD
浄 法 寺 分 署	広 報 車	日産 エクストレイル	H21. 8		4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H28. 11	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H27. 1	トヨタ テクノクラクト	4WD
九 戸 分 署	広 報 車	トヨタ ランドクルーザー	H29. 11		4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H28. 2	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H28. 9	トヨタ テクノクラクト	4WD

火災による損害状況

令和3年中

区分 市町村	出火件数		焼損面積		損害額(建物)			損害額(林野)
	件数	出火率	建物焼損 床面積	林野焼損 面積	総額 (千円)	一件当り (千円)	1世帯当 り(円)	総額 (千円)
令和3年	31	6.0	2,595	0	91,828	2,962.2	3,923.8	0
二戸市	18	6.9	1,885	0	80,097	4,449.8	6,761.0	0
一戸町	8	6.8	553	0	9,247	1,155.9	1,646.0	0
軽米町	3	3.5	0	0	0	0.0	0.0	0
九戸村	2	3.6	157	0	2,484	1,242.0	1,138.9	0
令和2年	28	5.3	934	1	24,715	882.7	1,056.5	0
令和元年	31	5.7	1,388	88	26,312	848.8	1,120.1	0
平成30年	29	5.4	6,627	412	267,334	9,218.4	11,455.9	2,068
平成29年	26	4.8	1,473	21	78,468	2,545.1	2,835.7	86
平成28年	21	3.8	1,161	90	18,898	1,889.8	808.5	2,694
平成27年	46	8.1	4,642	90	235,240	5,113.9	9,995.3	0
平成26年	35	5.9	2,471	146	51,664	1,476.1	2,190.3	1,636
平成25年	36	6.0	3,441	131	84,945	2,359.6	3,601.2	0
平成24年	30	5.0	2,764	286	68,335	2,277.8	2,904.2	3,241
年平均	31.3	5.6	2,749.6	126.5	94,774	3,346.0	4,551.4	972.5

災害通報等受付件数

令和3年中

内訳 覚知別	火災	救急	救助	その他災害	誤報	通報訓練	その他	計
119番専用 電話(固定)	17	1,296	12	39	54	280	250	1,948
119番専用 電話(携帯)	12	572	24	6	57	12	135	818
一般加入電話	2	274	5	17	0	0	1	299
警察電話	0	17	7	6	0	0	0	30
駆けつけ通報	0	46	0	4	0	0	6	56
事後覚知	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	13	0	29	0	1	11	55
計	32	2,218	48	101	111	293	403	3,206

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。

時間別火災発生状況

令和3年中

	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	計
0～2	2	0	0	0	2
2～4	1	1	0	1	3
4～6	1	1	0	0	2
6～8	2	0	0	0	2
8～10	0	0	0	0	0
10～12	2	2	0	0	4
12～14	2	1	0	1	4
14～16	3	1	2	0	6
16～18	1	1	0	0	2
18～20	3	1	1	0	5
20～22	1	0	0	0	1
22～24	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0
計	18	8	3	2	31

曜日別火災発生状況

令和3年中

	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	計
月曜日	3	1	0	1	5
火曜日	6	4	0	0	10
水曜日	0	3	0	0	3
木曜日	2	0	2	0	4
金曜日	1	0	1	0	2
土曜日	3	0	0	1	4
日曜日	3	0	0	0	3
計	18	8	3	2	31

焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況(過去10年間)

平成24年～令和3年

年別	出火日時	出火場所	出火建物用途	出火原因	焼損棟数	焼損面積(m ²)	損害額(千円)
令和3年	1月22日 2時00分	二戸市 (浄法寺町)	住宅	不明	5	373	5,438
	6月13日 21時05分	二戸市	住宅	不明	9	736	18,442
	8月19日 19時51分	二戸市 (浄法寺町)	工場	屋内配線の短絡により生じたスパークが内壁の木ずりに落下したことにより出火したものと推定。	3	494	46,612
令和2年	7月3日 7時10分	一戸町	一般倉庫	不明	2	423	7,172
令和元年	3月10日 1時30分	九戸村	住宅	反射式ストーブに、付近にあった紙製の可燃物が落下または移動して接触したことにより出火したものと推定。	4	340	10,255
	5月23日 10時20分	二戸市 (浄法寺町)	住宅	不明	4	331	1,632
	11月22日 9時00分	一戸町	住宅	煙突から火の粉が藁に飛び火し着火したものと推定。	5	414	3,669
平成30年	1月23日 3時40分	一戸町	納屋	木箱の中で燐炭が再燃し着火。そこから建物へ延焼拡大したものと推定。	5	397	3,607
	6月26日 13時20分	二戸市	物置	木の枝などのゴミを焼却中に、行為者がその場を離れたうちに延焼拡大したものと推定。	7	730	8,573
	7月3日 15時40分	二戸市	住宅	配線器具の短絡によって生じた銅粒状の短絡痕が段ボール箱に落下することで着火。そこから周囲の可燃物へ延焼拡大したものの。	5	458	7,467
	7月7日 14時00分	軽米町	住宅	取灰の余熱で周囲の可燃物に着火し、その炎が延焼拡大したものの。	2	602	18,770
	7月16日 1時30分	九戸村	住宅	使用したマッチを完全に消火しないで捨てたため、周囲にあった燃焼物へ着火し、また扇風機の風の力を受け延焼拡大したものの。	1	336	11,511
	10月5日 15時15分	九戸村	養鶏舎	絶縁性能が低下した配線が異極間で短絡、付近のほこりや壁面の柱に着火し、延焼拡大したものと推定。	1	513	5,136
平成29年	4月2日 17時30分	一戸町	住宅	仏壇供養の際に使用した、ロウソクの炎が不祝儀袋等に着火し、建物全体へ延焼拡大したものの。	3	340	21,589
平成28年	1月12日 15時55分	一戸町	養畜舎	ガストーブが建物北側に倒れ、炎が扉に着火。扉に着火した炎が延焼拡大したものの。	1	497	6,655
平成27年	3月13日 6時15分	軽米町	養畜舎	不明	2	1,064	102,676
	5月8日 15時20分	軽米町	物置	建物の所有者が自ら施工した屋外配線が経年劣化により短絡し、それによって生じた火花から出火及び延焼拡大したものの。	5	500	3,202
	6月25日 23時20分	九戸村	店舗併用住宅	不明	2	461	66,049
平成26年	12月15日 4時00分	一戸町	作業場	電源コード等の劣化による無炎燃焼から有炎燃焼へ移行したものの。	1	391	7,269
平成25年	1月10日 15時30分	一戸町	店舗併用住宅	薪ストーブの取り灰を放置。	4	593	35,590
	1月21日 16時40分	九戸村	作業場併用住宅	火鉢の炭火がはね、付近の可燃物に着火し延焼拡大したものの。	1	578	6,284
	1月30日 17時00分	二戸市	住宅	不明	1	335	7,309
	5月22日 16時15分	軽米町	おがくず倉庫	ごみ焼きから飛火し建物へ延焼拡大したものの。	4	501	7,719
平成24年	1月24日 10時00分	二戸市 (浄法寺町)	住宅	薪ストーブの煙突貫通部の低温発火により、貫通部木枠に着火し延焼拡大したものの。	1	320	19,085
	8月5日 14時45分	一戸町	炭小屋	炭窯の排煙口からの火炎が可燃物に着火し、延焼拡大したものの。	3	453	3,244
	10月11日 5時30分	一戸町	パーク倉庫	照明用配線の折れ曲がり箇所、電線被覆が短絡して発火、延焼拡大したものの。	1	646	16,014
	10月19日 17時15分	二戸市 (浄法寺町)	堆肥舎	鶏糞の発酵発熱により発火したものと推定。	1	716	12,703

焼損面積100アール以上の林野火災状況(過去10年間)

平成24年～令和3年

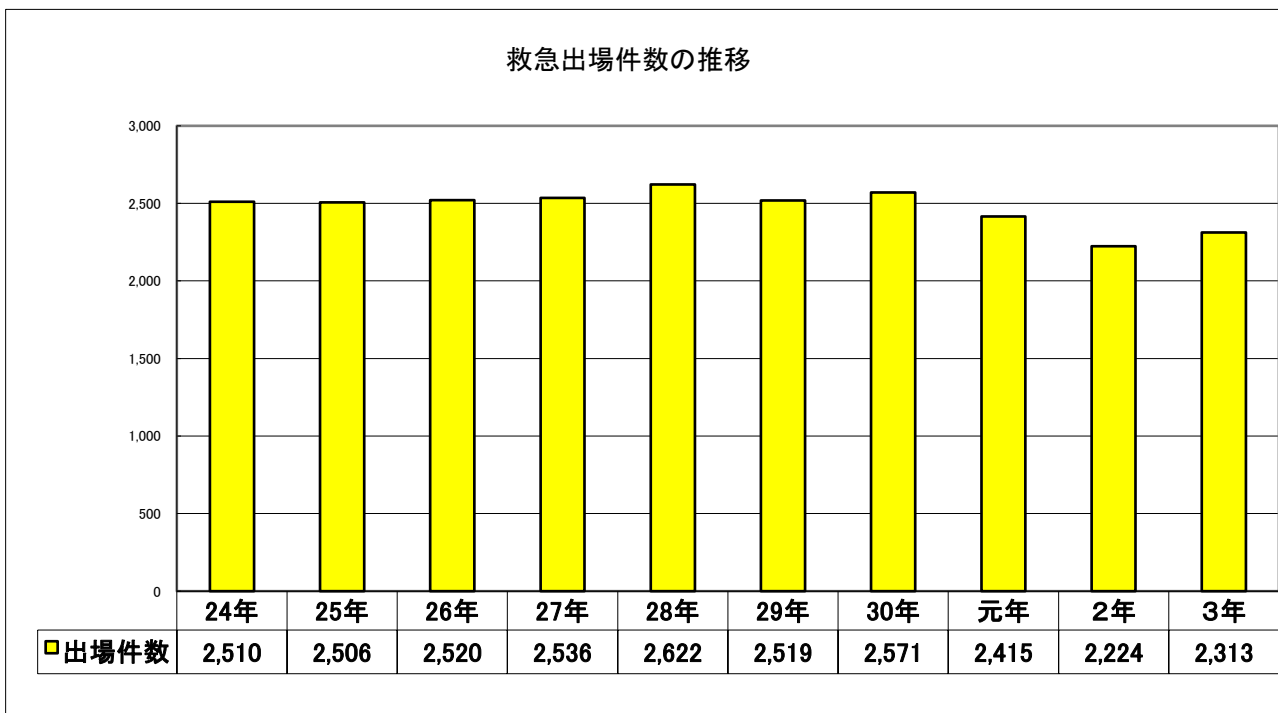
年別	出火日時	出火場所	気象状況				出火原因	焼損面積 (a)	損害額 (千円)
			天候	風向	風速 (m/s)	湿度 (%)			
平成30年	5月16日 10時00分	一戸町	曇	南西	1	44	たばこの投げ捨てにより延焼拡大したものと推定。	412	2,068
平成24年	6月13日 21時05分	二戸市	晴	南南西	3	11	木の枝を焼却中に付近の枯れ草に延焼拡大したものの。	270	3,241

* 平成25年～平成29年及び令和元年から令和3年は該当火災なし

< 救 急 >

年 別 救 急 出 場 状 況 (過 去 10 年 間)

種別 年別	事 故 種 別													合 計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送		そ の 他
令和3年	13	0	1	90	23	7	298	2	23	1,593	252	0	0	11	2,313
令和2年	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	226	0	0	7	2,224
令和元年	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	255	0	0	10	2,415
平成30年	10	0	1	138	46	6	333	6	21	1,710	290	1	0	9	2,571
平成29年	15	0	0	145	27	14	327	7	35	1,675	261	0	0	13	2,519
平成28年	6	5	2	142	25	18	349	12	25	1,754	271	0	0	13	2,622
平成27年	10	0	4	143	27	5	329	3	29	1,692	283	0	0	11	2,536
平成26年	5	1	0	128	14	13	315	4	29	1,702	297	0	0	12	2,520
平成25年	10	5	4	135	26	8	324	11	42	1,628	299	1	0	13	2,506
平成24年	8	0	1	141	11	7	282	7	33	1,678	332	2	1	7	2,510



月別救急出場状況

令和3年中

種別 月	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
1月	2	0	0	5	2	0	30	0	1	145	21	206
2月	0	0	0	13	3	0	33	0	3	125	19	196
3月	3	0	0	6	2	0	20	0	1	125	32	189
4月	1	0	0	4	1	1	24	0	1	115	23	170
5月	1	0	0	9	1	0	23	0	4	155	16	209
6月	1	0	0	7	4	0	22	0	0	113	20	167
7月	1	0	0	7	1	2	36	1	2	139	22	211
8月	1	0	0	7	0	2	21	0	2	138	19	190
9月	0	0	0	7	5	0	30	1	3	126	21	193
10月	1	0	0	11	1	0	25	0	2	132	23	195
11月	1	0	0	4	1	1	20	0	1	127	21	176
12月	1	0	1	10	2	1	14	0	3	153	26	211
計	13	0	1	90	23	7	298	2	23	1,593	263	2,313

曜日別救急出場状況

令和3年中

種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
月曜日	3	0	0	6	6	1	49	0	4	234	47	350
火曜日	4	0	0	12	2	2	43	0	4	228	49	344
水曜日	1	0	1	10	6	0	39	0	3	235	36	331
木曜日	1	0	0	8	5	1	47	1	5	241	47	356
金曜日	1	0	0	18	2	1	36	1	2	230	47	338
土曜日	1	0	0	13	2	1	41	0	4	197	22	281
日曜日	2	0	0	23	0	1	43	0	1	228	15	313
計	13	0	1	90	23	7	298	2	23	1,593	263	2,313

年齢区分・傷病程度別搬送人員状況

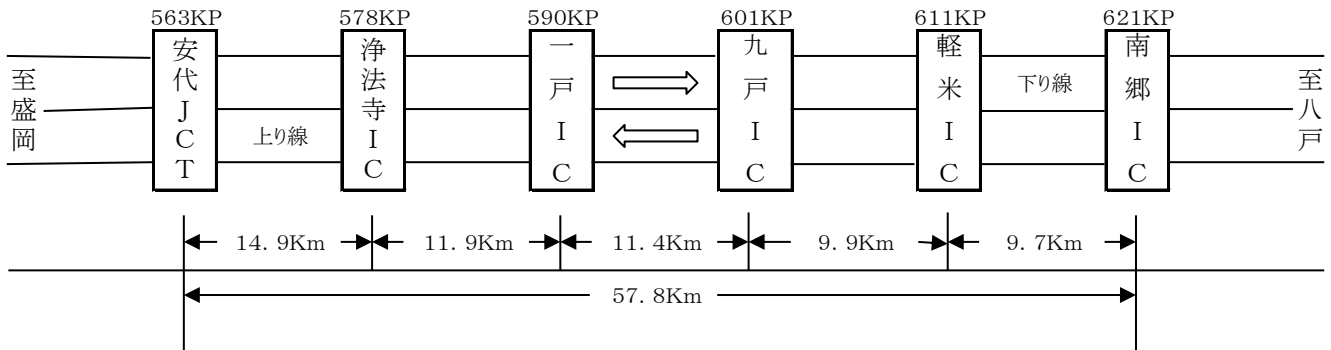
令和3年中

年齢区分	事故種類	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	傷病程度												
新生児 生後28日未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
乳幼児 28日以上 7歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	中等症	0	0	0	1	0	0	3	0	0	3	7	14
	軽症	0	0	0	1	0	0	7	0	0	17	0	25
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		0	0	0	2	0	0	10	0	0	20	8
少年 7歳以上 18歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	重症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
	中等症	0	0	0	1	0	0	3	0	1	3	0	8
	軽症	0	0	0	1	0	7	4	0	0	19	1	32
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		0	0	0	3	0	7	7	0	1	23	3
成人 18歳以上 65歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	0	12
	重症	0	0	0	0	2	0	3	1	1	20	25	52
	中等症	0	0	0	7	8	0	10	0	2	59	41	127
	軽症	1	0	0	29	7	1	28	1	6	168	7	248
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		1	0	0	36	17	1	41	2	10	258	73
高齢者 65歳以上	死亡	0	0	0	0	0	0	11	0	2	76	0	89
	重症	0	0	0	1	3	0	21	0	0	213	66	304
	中等症	1	0	0	5	1	0	76	0	1	433	81	598
	軽症	1	0	0	16	2	0	122	0	0	482	18	641
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	小計		2	0	0	22	6	0	230	0	3	1,205	165
合計	死亡	0	0	0	0	0	0	11	0	3	88	0	102
	重症	0	0	0	2	5	0	24	1	1	233	96	362
	中等症	1	0	0	14	9	0	92	0	4	498	129	747
	軽症	2	0	0	47	9	8	161	1	6	686	26	946
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計		3	0	0	63	23	8	288	2	14	1,506	251	2,158

管轄する高速自動車道の概要

【八戸自動車道 安代JCT～南郷IC間(563kp～621kp) 上・下線】

* 供用開始 一戸IC～八戸IC間 昭和61年11月27日
 一戸IC～安代JCT間 平成元年 9月 7日



高速自動車道における事故等の発生状況

令和3年中

NO	区分	月日	覚知時間	事故発生場所	出場車両	事故等の概要
1	交通	3月14日	11:14	八戸自動車道 上り線596.5kp 付近	九戸救急 一戸救急 一戸タンク 二戸救助	普通乗用車にて八戸自動車道上り線を走行中、車がスリップし路肩に設置されている標識に助手席側の前面が衝突した。そのはずみで中央分離帯のガードレールに車両前面が衝突し停車した。衝突した際に左膝を受傷し救急要請したもの。
2	交通	8月6日	17:15	八戸自動車道 上り線605.4kp 付近	軽米救急 軽米タンク 二戸救助	八戸自動車道上り線を普通乗用車で走行中、中央分離帯から横断してきた熊と衝突し、警察に通報した後、NEXCO東日本より救急要請となったもの。
3	火災	10月19日	6:50	八戸自動車道 上り線583kp 付近	一戸救急 一戸タンク 二戸救助 二戸水槽 二戸輸送 浄法寺広報	バスの車両火災事故。八戸自動車道上り線583kp付近を走行中、アクセルを踏んでもエンジンがふけなくなり、間もなく路肩に停車すると同時に車両下部のエンジンルームから出火したもの。
4	交通	12月29日	6:16	八戸自動車道 上り線609.1kp 付近	九戸救急 九戸タンク 二戸救助	神奈川県から北海道へ旅行中、八戸自動車道下り線を走行していたところ、609kp手前で凍結路面によりスリップした後、中央分離帯のガードレール及び左路側帯の壁に3度衝突し、中央分離帯のガードレールに衝突し止まったもの。傷病者は衝突のはずみでダッシュボードに胸を打ち受傷したもの。

高速自動車道における救急活動状況（過去10年間）

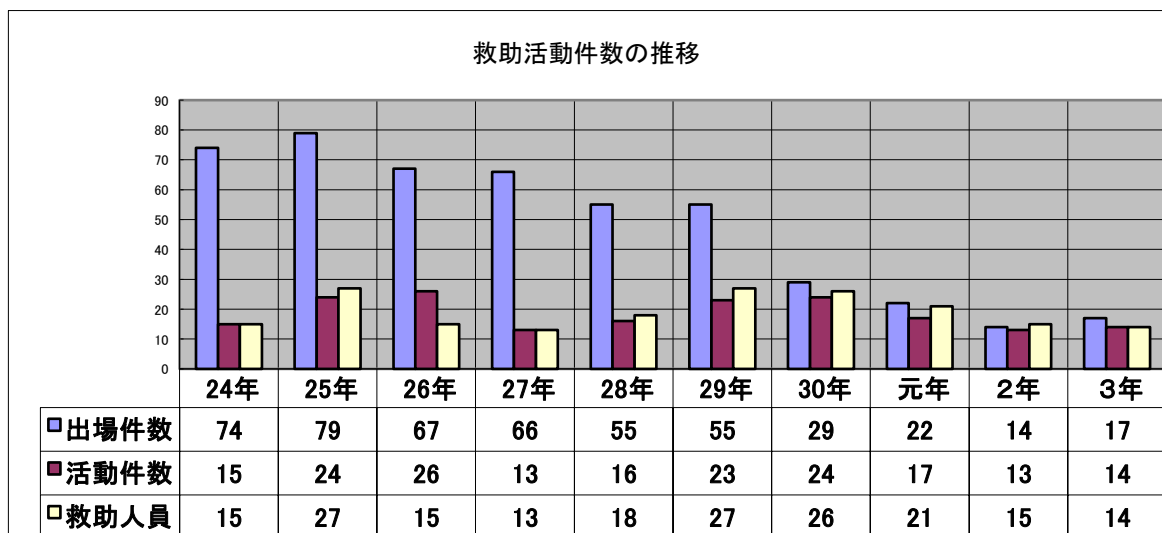
平成24年～令和3年

種 別		交 通	急 病	一般負傷	その他	計
年 度 別						
令和3年	出場件数	3	0	0	1	4
	搬送件数	3	0	0	0	3
	搬送人員	3	0	0	0	3
令和2年	出場件数	2	2	0	1	5
	搬送件数	2	2	0	0	4
	搬送人員	2	2	0	0	4
令和元年	出場件数	3	2	1	0	6
	搬送件数	3	2	1	0	6
	搬送人員	3	2	1	0	6
平成30年	出場件数	5	1	0	0	6
	搬送件数	3	1	0	0	4
	搬送人員	3	1	0	0	4
平成29年	出場件数	17	3	0	1	21
	搬送件数	11	3	0	0	14
	搬送人員	13	3	0	0	16
平成28年	出場件数	6	2	0	0	8
	搬送件数	3	1	0	0	4
	搬送人員	3	1	0	0	4
平成27年	出場件数	7	2	0	0	9
	搬送件数	5	1	0	0	6
	搬送人員	7	1	0	0	8
平成26年	出場件数	8	4	0	0	12
	搬送件数	7	3	0	0	10
	搬送人員	8	3	0	0	11
平成25年	出場件数	13	4	1	1	19
	搬送件数	6	4	1	1	12
	搬送人員	6	4	1	1	12
平成24年	出場件数	6	5	0	1	12
	搬送件数	5	5	0	0	10
	搬送人員	5	5	0	0	10

< 救 助 >

年 別 救 助 活 動 状 況 (過 去 1 0 年 間)

年 別	事故種別 区 分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	機 械 に よ る 事 故	よ 建 る 物 事 等 に	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
令 和 3 年	出 場 件 数	5		3	1		2				6	17
	活 動 件 数	5		2	1		1				5	14
	救 助 人 員	6		2	1		1				4	14
令 和 2 年	出 場 件 数	3		5	3						3	14
	活 動 件 数	3		5	2						3	13
	救 助 人 員	4		6	2						3	15
令 和 元 年	出 場 件 数	2		14	1		2	1			2	22
	活 動 件 数	2		10	1		1	1			2	17
	救 助 人 員	2		14	1		1	1			2	21
平 成 30 年	出 場 件 数	2		15		1	1	4			6	29
	活 動 件 数	2		12		1		3			6	24
	救 助 人 員	2		13		5		2			4	26
平 成 29 年	出 場 件 数	3		35			7				10	55
	活 動 件 数	3		10			4				7	24
	救 助 人 員	3		12			4				8	27
平 成 28 年	出 場 件 数			42	2	5	4				2	55
	活 動 件 数			9		5	1				1	16
	救 助 人 員			9		7	1				1	18
平 成 27 年	出 場 件 数			51	4		3		1		7	66
	活 動 件 数			7	2		1				3	13
	救 助 人 員			7	2		1				3	13
平 成 26 年	出 場 件 数	10	4	42		3		2			6	67
	活 動 件 数	10	4	6		2					4	26
	救 助 人 員	2		7		2					4	15
平 成 25 年	出 場 件 数			63	5	1	1	1	1		7	79
	活 動 件 数			15	6			1	1		1	24
	救 助 人 員			11	7				8		1	27
平 成 24 年	出 場 件 数	3	1	61	1	2		2			4	74
	活 動 件 数	3	1	6	1			2			2	15
	救 助 人 員			10	1			2			2	15



署・分署別救助活動状況

令和3年中

事故種別 署分署別		火災		交通事故	水難事故	自然災害等	風水災害等	機械による事故	建物等による事故	ガス事故及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外										
二戸消防署	出場件数	2			1			1				2	6
	活動件数	2			1							2	5
	救助人員	1			1							2	4
一戸分署	出場件数			2				1				3	6
	活動件数			1				1				3	5
	救助人員			1				1				2	4
軽米分署	出場件数												0
	活動件数												0
	救助人員												0
浄法寺分署	出場件数	2		1								1	4
	活動件数	2		1									3
	救助人員	3		1									4
九戸分署	出場件数	1											1
	活動件数	1											1
	救助人員	2											2
計	出場件数	5		3	1			2				6	17
	活動件数	5		2	1			1				5	14
	救助人員	6		2	1			1				4	14

事故発生場所別救助活動状況

令和3年中

事故発生場所			火災		交通事故	水難事故	自然災害等	機械による事故	よ建 る物 事等 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	その 他 の 事 故	計		
			建 物	建 物 以 外											
屋 内	住居	出場件数	5									2	7		
		活動件数	5										2	7	
		救助人員	6										2	8	
	その他の屋内	出場件数												0	
		活動件数												0	
		救助人員												0	
屋 外	道	高速 自動車道	出場件数											0	
			活動件数												0
			救助人員												0
	路	その他の 道 路	出場件数			3								3	
			活動件数			2									2
			救助人員			2									2
	面	水	内水面	出場件数									1	1	
				活動件数										1	1
				救助人員										1	1
外		外水面	出場件数			1								1	
			活動件数			1									1
			救助人員			1									1
山 岳	出場件数											1	1		
	活動件数											1	1		
	救助人員												0		
その他の屋外	出場件数						2					1	3		
	活動件数						1						1		
	救助人員						1						1		
地 下	出場件数												0		
	活動件数												0		
	救助人員												0		
そ の 他	出場件数											1	1		
	活動件数											1	1		
	救助人員											1	1		
計	出場件数	5		3	1		2					6	17		
	活動件数	5		2	1		1					5	14		
	救助人員	6		2	1		1					4	14		

署・分署別救助出動人員状況

令和3年中

事故種別 署分署別		火災		交通事故	水難事故	自然災害等	機械による事故	建物等による事故	ガス事故及び	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
二戸消防署	救助隊	15		9	3		7				17	51
	消防隊	4			3		3				15	25
	救急隊	6			3		6				7	22
一戸分署	消防隊			5			2				6	13
	救急隊			22			4				3	29
軽米分署	消防隊											0
	救急隊											0
浄法寺分署	消防隊	13		6							2	21
	救急隊	6		6							4	16
九戸分署	消防隊	16										16
	救急隊	7										7
計	救助隊	15	0	9	3	0	7	0	0	0	17	51
	消防隊	33	0	11	3	0	5	0	0	0	23	75
	救急隊	19	0	28	3	0	10	0	0	0	14	74

署・分署別救助活動人員状況

令和3年中

署分署別		事故種別		交通 事故	水難 事故	自風 然水 災害 等	機 械に よる 事 故	建 物等 によ る 事 故	酸ガ ス事 及び 故	破 裂事 故	そ の 他 の 事 故	計
		火 建 物	災 建 物 以 外									
二戸 消 防 署	救 助 隊	15		3	3		3				7	31
	消 防 隊				3						13	16
	救 急 隊				3						3	6
一戸 分 署	消 防 隊			3			2				5	10
	救 急 隊			4			4				3	11
軽米 分 署	消 防 隊											0
	救 急 隊											0
浄法 寺 分 署	消 防 隊	13		2								15
	救 急 隊			3								3
九戸 分 署	消 防 隊	10										10
	救 急 隊											0
計	救 助 隊	15		3	3		3				7	31
	消 防 隊	23		5	3		2				18	51
	救 急 隊			7	3		4				6	20